

---

# 町民まちづくりアンケート 調査報告書

---

令和8年2月

## 1. 調査の概要

### 1) 調査の目的

函南町では、令和9年度から令和18年度までの10年間における町の方向性を示す「第七次函南町総合計画」の策定準備を進めている。

本アンケートでは、「第七次函南町総合計画」策定するにあたり、これまでの町の取り組みについての満足度等を含めた町の将来に対する希望や将来像などを伺うため、アンケート調査を実施することとした。

### 2) 調査の方法

- (1) 調査地域：函南町全域
- (2) 調査対象：住民基本台帳に記載された町民（18歳以上）
- (3) 総人口：35,996人（令和7年9月1日現在）
- (4) 発送数：2,500票
- (5) 調査方法：郵送による発送・回収及びGoogleフォームより回答
- (6) 調査期間：令和7年9月30日～令和7年11月20日

### 3) 回収結果

- (1) 発送数：2,500票
- (2) 有効回収数：1,107票
- (3) 有効回収率：44.3%

## 2. 調査の結果

### 問 1-1 性別

回答者の男女比率は同程度となっています。

性別については、「男性」45.8%、「女性」52.2%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	男性	507	45.8%
2	女性	578	52.2%
3	その他	2	0.2%
4	回答したくない	6	0.5%
	無回答	14	1.3%
N	(%へ-ス)	1,107	100.0%

### 問 1-2 年齢

「70歳以上」の方が最も多く回答しています。

年齢については、「70歳以上」が29.6%で最も高く、次いで「50～54歳」が10.6%となっており、その他の年齢層では全て1割以下となっています。

No.		件数	(全体)%
1	18～19歳	17	1.5%
2	20～24歳	34	3.1%
3	25～29歳	37	3.3%
4	30～34歳	54	4.9%
5	35～39歳	61	5.5%
6	40～44歳	93	8.4%
7	45～49歳	98	8.9%
8	50～54歳	117	10.6%
9	55～59歳	95	8.6%
10	60～64歳	84	7.6%
11	65～69歳	83	7.5%
12	70歳以上	328	29.6%
	無回答	6	0.5%
N	(%へ-ス)	1,107	100.0%

## 問 1-3 居住地区

「仁田地区」「柏谷地区」「平井地区」「間宮地区」にお住まいの方が1割以上回答しています。

居住地区については、「間宮地区」13.2%、「平井地区」12.2%、「仁田地区」12.1%、「柏谷地区」10.9%となっており、その他の地区は全て1割以下となっています。

No.		件数	(全体)%
1	仁田	134	12.1%
2	大土肥	42	3.8%
3	柏谷	121	10.9%
4	畑毛	29	2.6%
5	平井	135	12.2%
6	丹那	15	1.4%
7	畑	16	1.4%
8	軽井沢	5	0.5%
9	田代	4	0.4%
10	桑原	42	3.8%
11	大竹	24	2.2%
12	上沢	74	6.7%
13	間宮	146	13.2%
14	塚本	77	7.0%
15	肥田	26	2.3%
16	日守	7	0.6%
17	新田	6	0.5%
18	奴田場	3	0.3%
19	鬢之沢	9	0.8%
20	細沢	0	0.0%
21	八ツ溝	6	0.5%
22	冷川	4	0.4%
23	新幹線	5	0.4%
24	函南	27	2.4%
25	城山	6	0.5%
26	柿沢台	18	1.6%
27	白道坂	13	1.2%
28	宝蔵台	10	0.9%
29	パサディナ	29	2.6%
30	鶴巻	2	0.2%
31	エメラルド	4	0.4%
32	ヒューマンヒルズ	5	0.5%
33	ダイヤモンド	50	4.5%
34	エンブルタウン	5	0.5%
35	その他( )	0	0.0%
	無回答	8	0.7%
	N (%へ-ス)	1,107	100.0%

## 問 1-4 居住年数

「25年以上」お住まいの方が最も多く回答しています。

居住年数については、「25年以上」が52.6%で最も高くなっています。一方で「10年～14年」「5年～9年」が8.9%と最も低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	5年未満	121	10.9%
2	5年～9年	99	8.9%
3	10年～14年	98	8.9%
4	15年～24年	200	18.1%
5	25年以上	582	52.6%
	無回答	7	0.6%
N	(%へのス)	1,107	100.0%

## 問2-1 居留意向

7割を超える人が住み続けたいと感じています。

今後も函南町に住み続けたいと思うかについては、7割（71.1%）の人が今後も住み続けたいと感じています。その一方で、できれば町外に移りたいと感じている人は1割未満（5.8%）、どちらとも言えないが2割（22.2%）となっています。

No.		件数	(全体)%
1	今後も住み続けたい	787	71.1%
2	できれば町外へ移りたい	64	5.8%
3	どちらとも言えない	246	22.2%
	無回答	10	0.9%
N	(%へ-ス)	1,107	100.0%

## 問2-2 住みやすいと思うところ（複数回答）

「自分（家族）の土地（または住まい）があるから」「自然環境がよいから」などが主な住み続けたい理由となっています。

問2-1で「今後も住み続けたい」と回答した人の主な理由としては、「自分（家族）の土地（または住まい）があるから」が75.9%で最も高く、次いで「自然環境がよいから」46.9%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	自分（家族）の土地（または住まい）があるから	597	75.9%
2	自然環境がよいから	369	46.9%
3	周りとの人間関係がよいから	205	26.0%
4	交通の便がよいから	225	28.6%
5	生活していくのに便利な施設が整っているから	257	32.7%
6	生まれて育ったところだから	161	20.5%
7	職場が近いから	118	15.0%
8	子育て環境がよいから	41	5.2%
9	親の扶養のため（親が住んでいるから）	50	6.4%
10	家賃や面積などの面で今住んでいる住宅がよいから	73	9.3%
11	災害が少ないから	175	22.2%
12	その他（ ）	11	1.4%
	無回答	1	0.1%
N	(%へ-ス)	787	

## 問2-3 住みにくいと思うところ（複数回答）

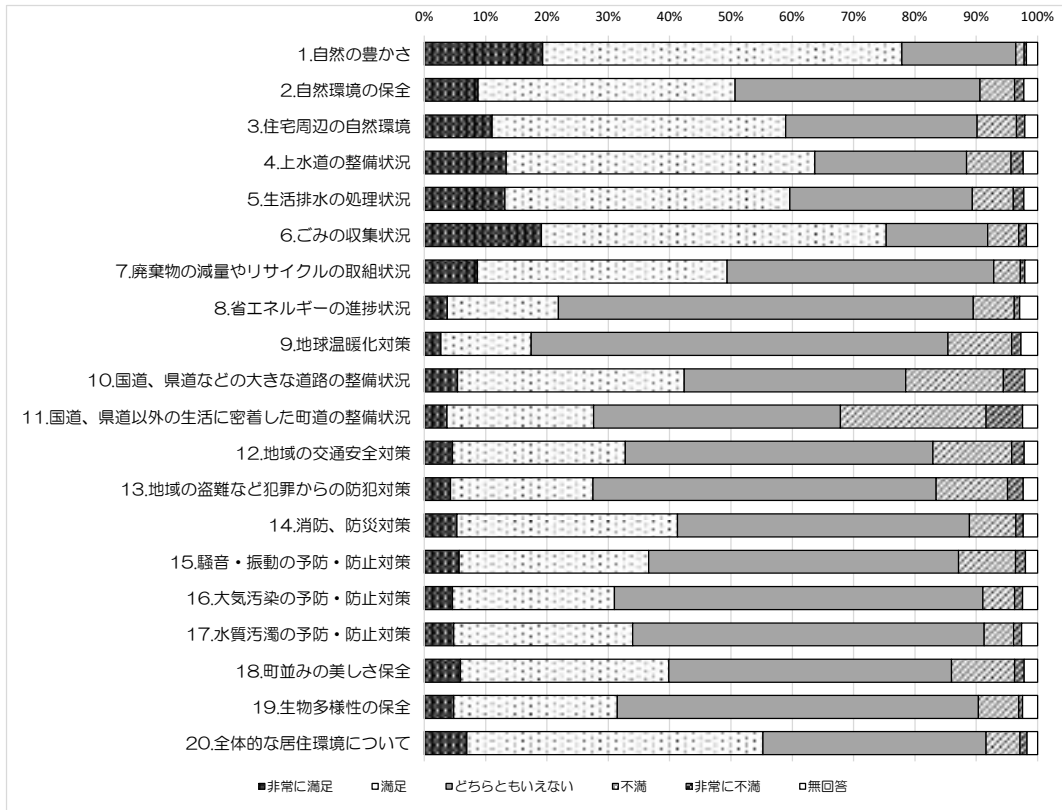
「交通の便がよくないから」「生活していくのに便利な施設が整っていないから」などが主な町外へ移りたい理由となっています。

問2-1で「できれば町外へ移りたい」と回答した人の主な理由としては、「交通の便がよくないから」が70.3%で最も高く、次いで「生活していくのに便利な施設が整っていないから」が54.7%となっています。

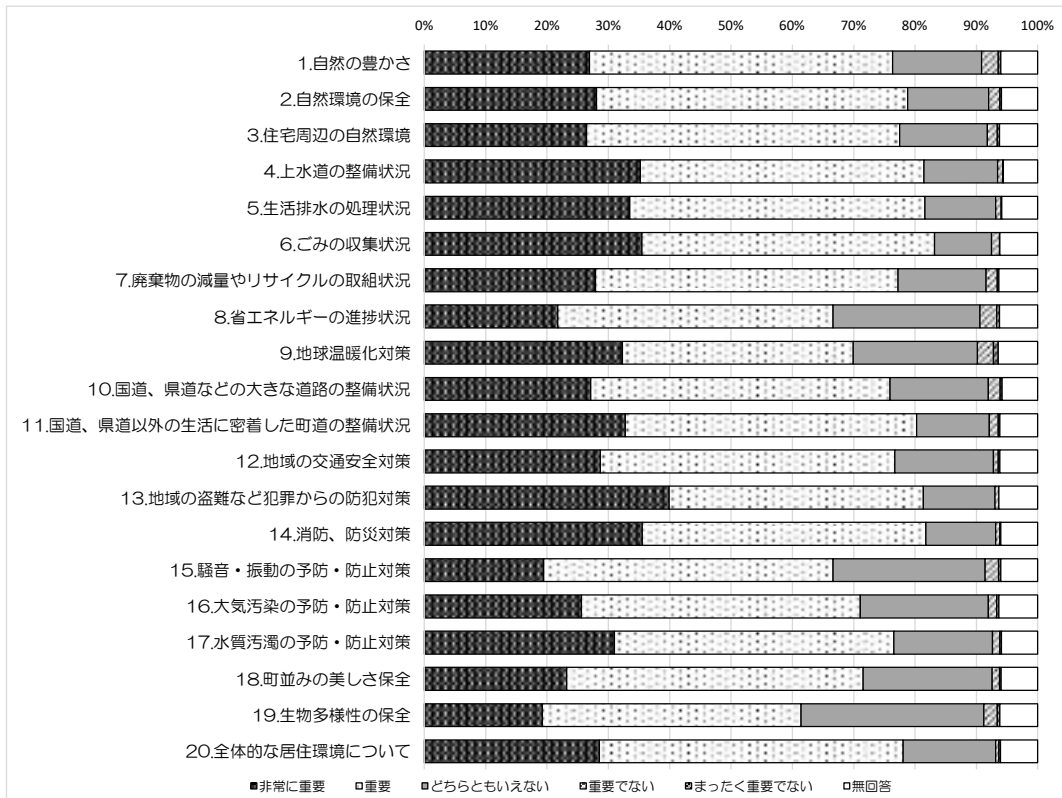
No.		件数	(全体)%
1	自分の土地（または住まい）がないから	2	3.1%
2	自然環境がよくないから	1	1.6%
3	周りとの人間関係がよくないから	7	10.9%
4	交通の便がよくないから	45	70.3%
5	生活していくのに便利な施設が整っていないから	35	54.7%
6	生まれて育ったところでないから	5	7.8%
7	職場が遠いから	7	10.9%
8	子育て環境がよくないから	9	14.1%
9	親の扶養のため（親が別のところに住んでいるから）	1	1.6%
10	家賃や面積などの面で今住んでいる住宅がよくないから	1	1.6%
11	災害が多いから	9	14.1%
12	その他（ ）	13	20.3%
	無回答	2	3.1%
N	(%ベース)	64	

### 問3-1 町の取組について

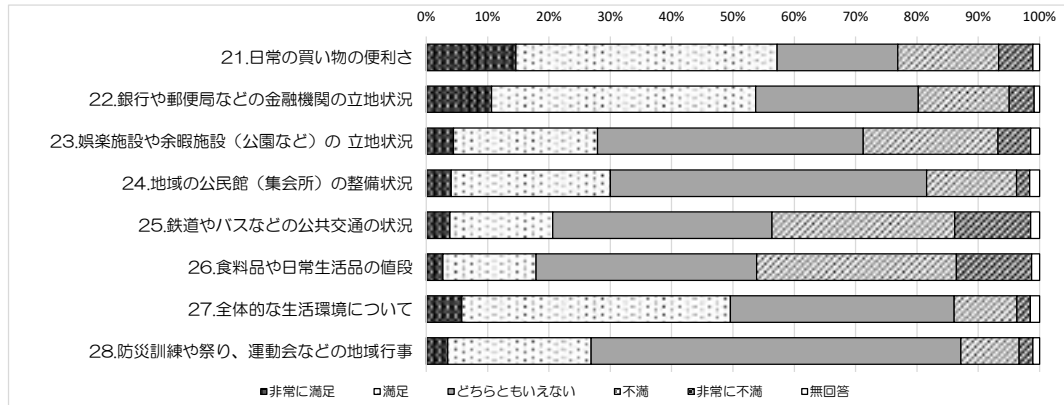
#### 〈居住満足度〉



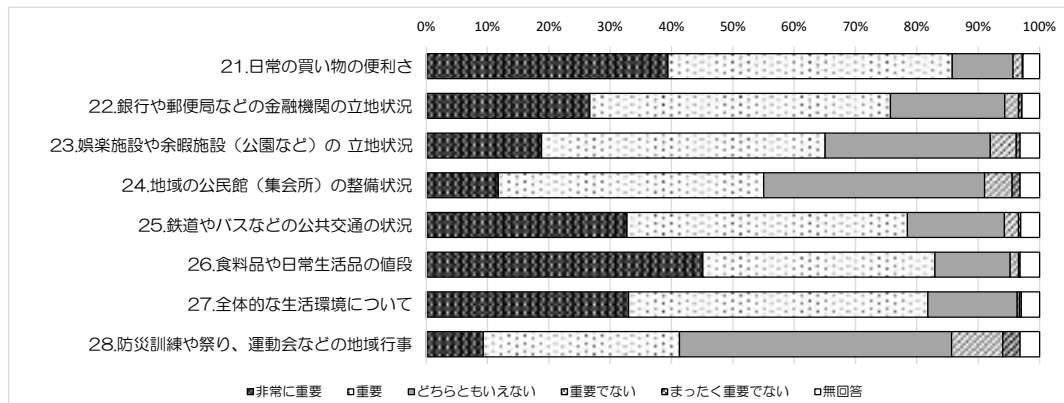
#### 〈居住重要度〉



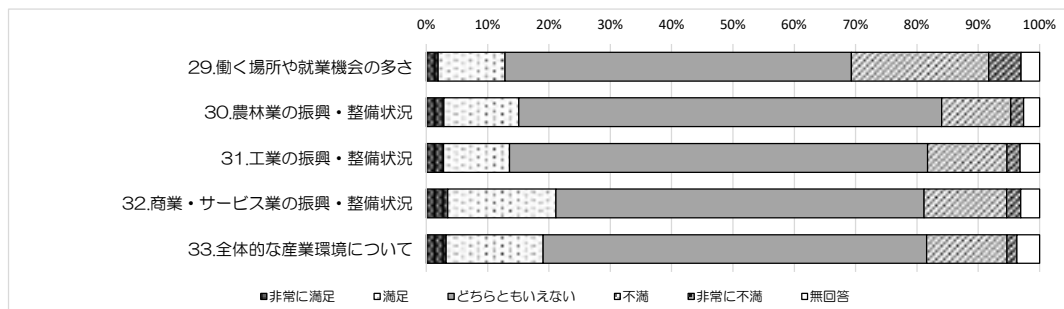
〈生活満足度〉



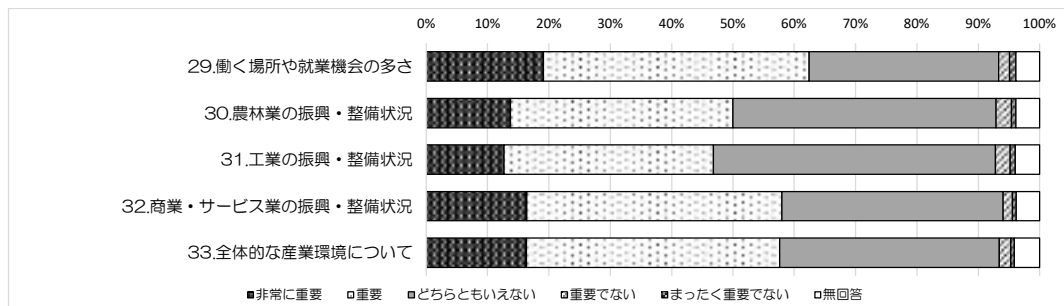
〈生活重要度〉



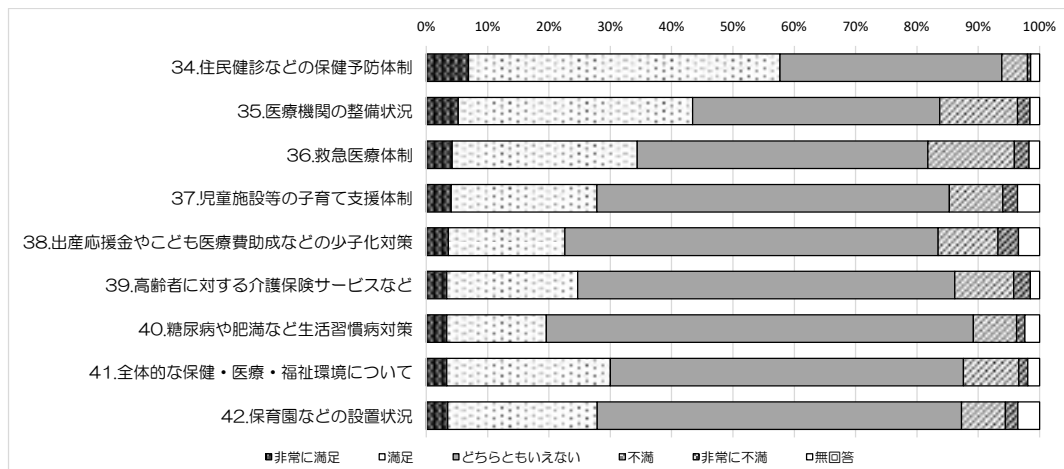
〈産業満足度〉



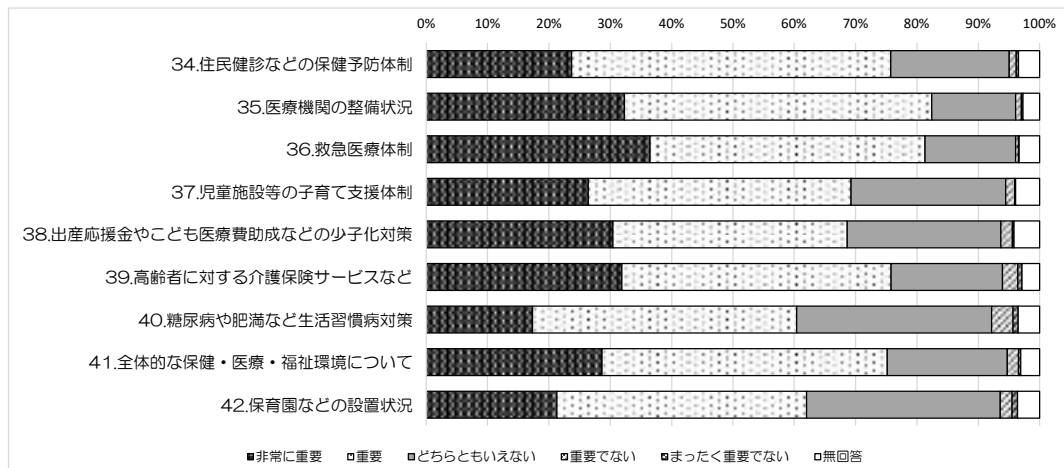
〈産業重要度〉



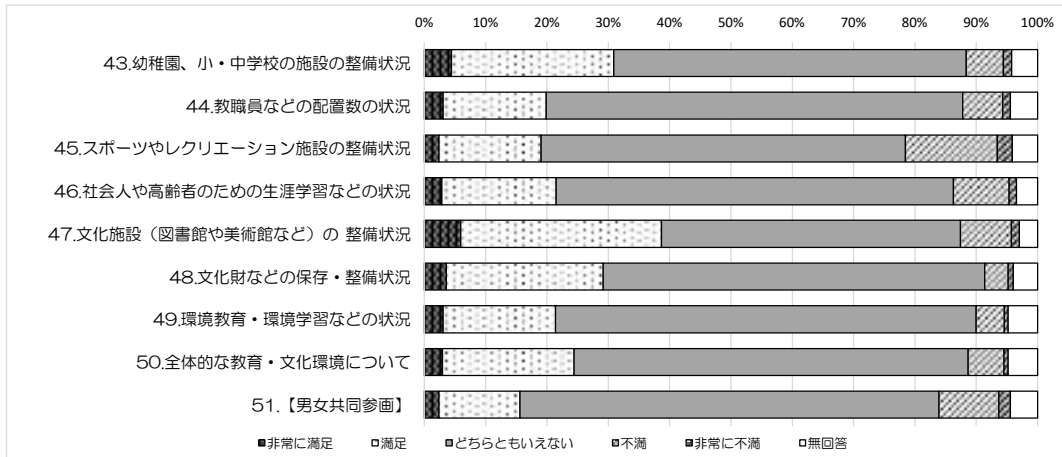
〈保健・医療・福祉満足度〉



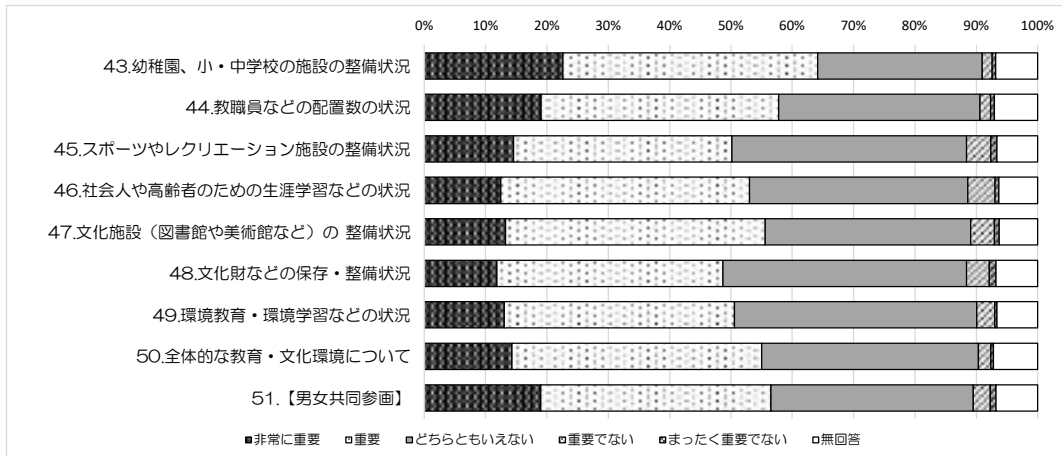
〈保健・医療・福祉重要度〉



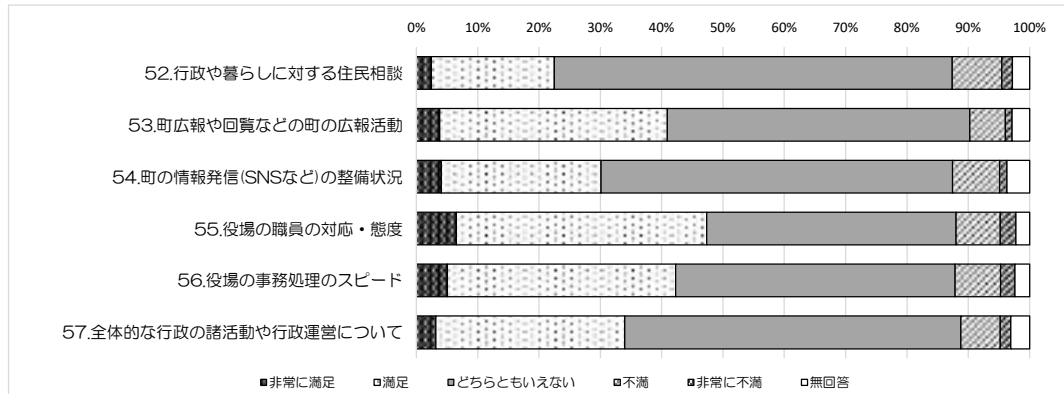
〈教育・文化満足度〉



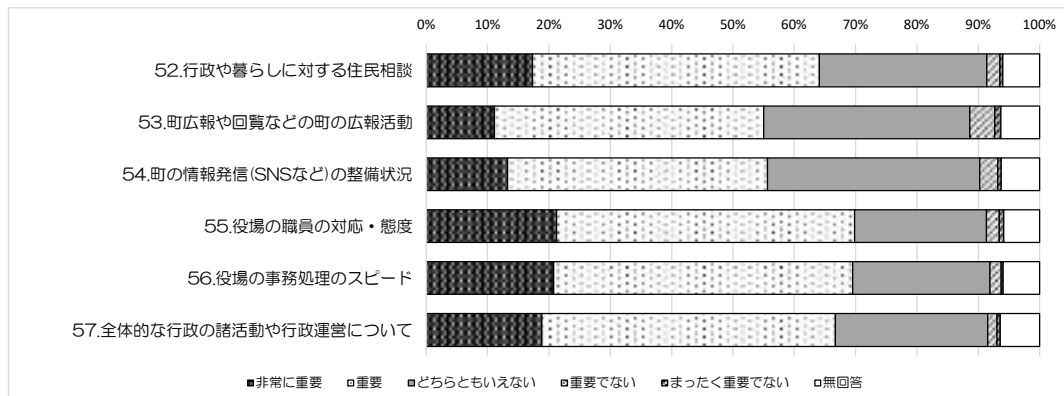
〈教育・文化重要度〉



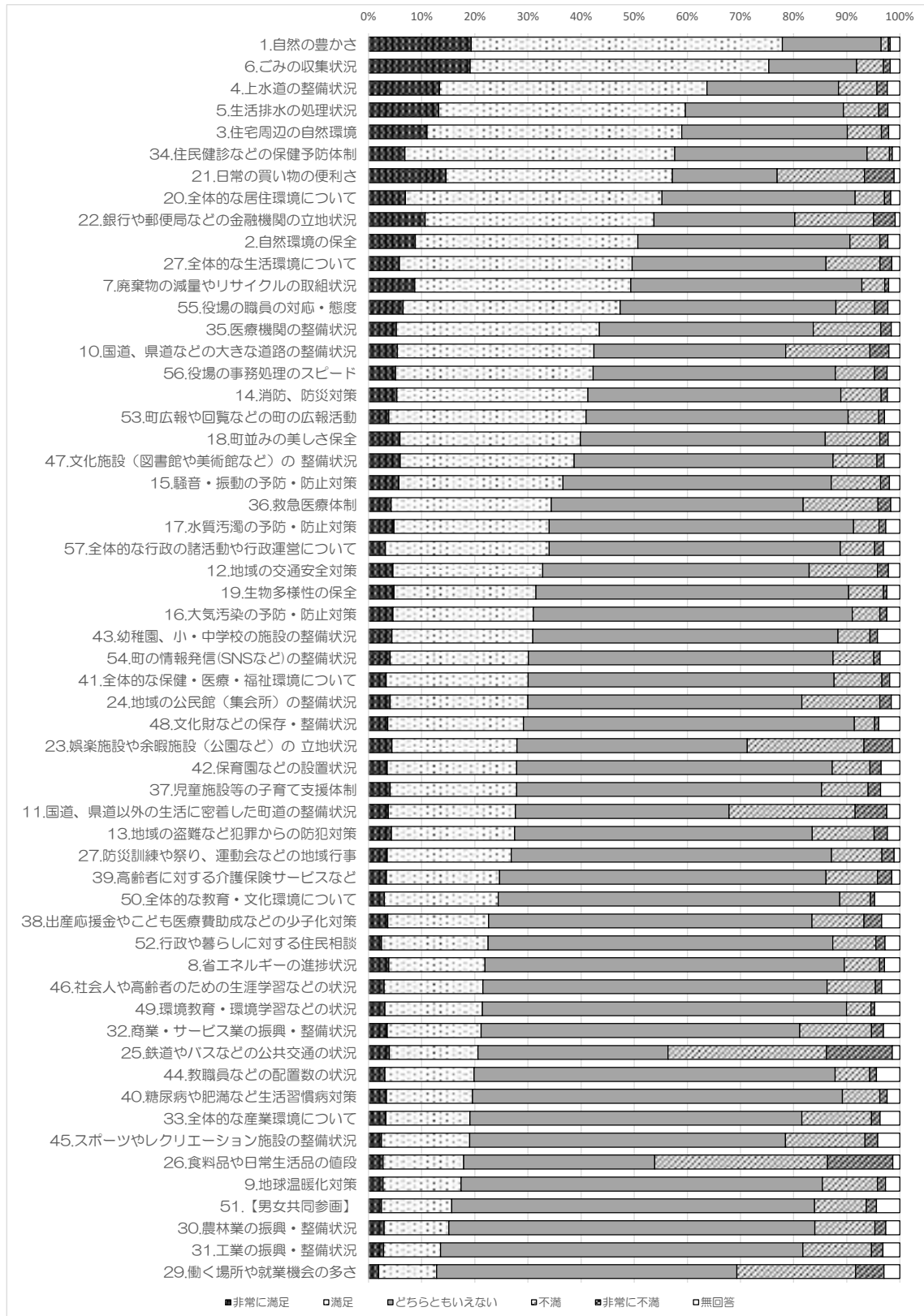
〈行政満足度〉



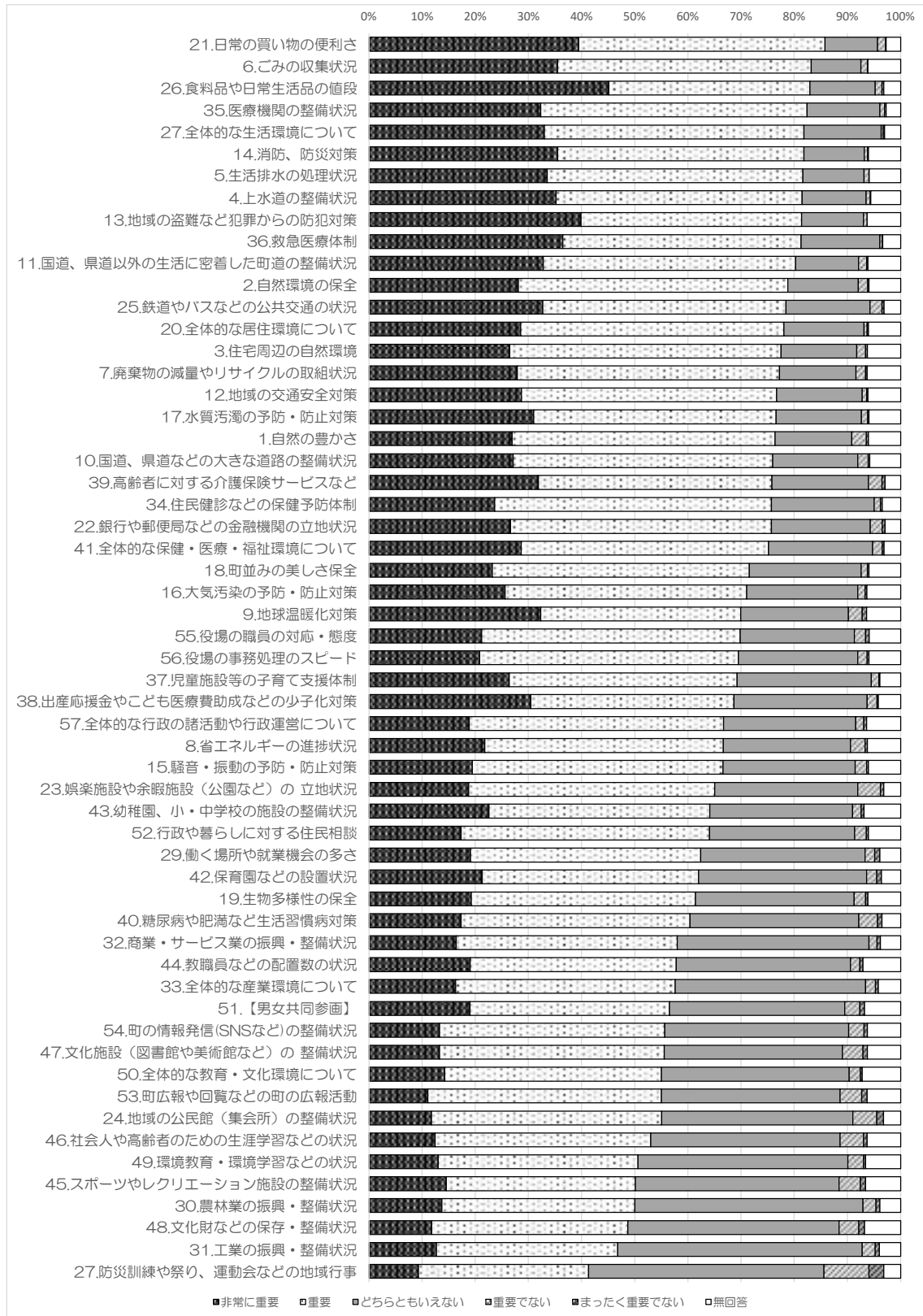
〈行政重要度〉



〈満足度〉



〈重要度〉



## 〈満足度・重要度の評価の見方〉

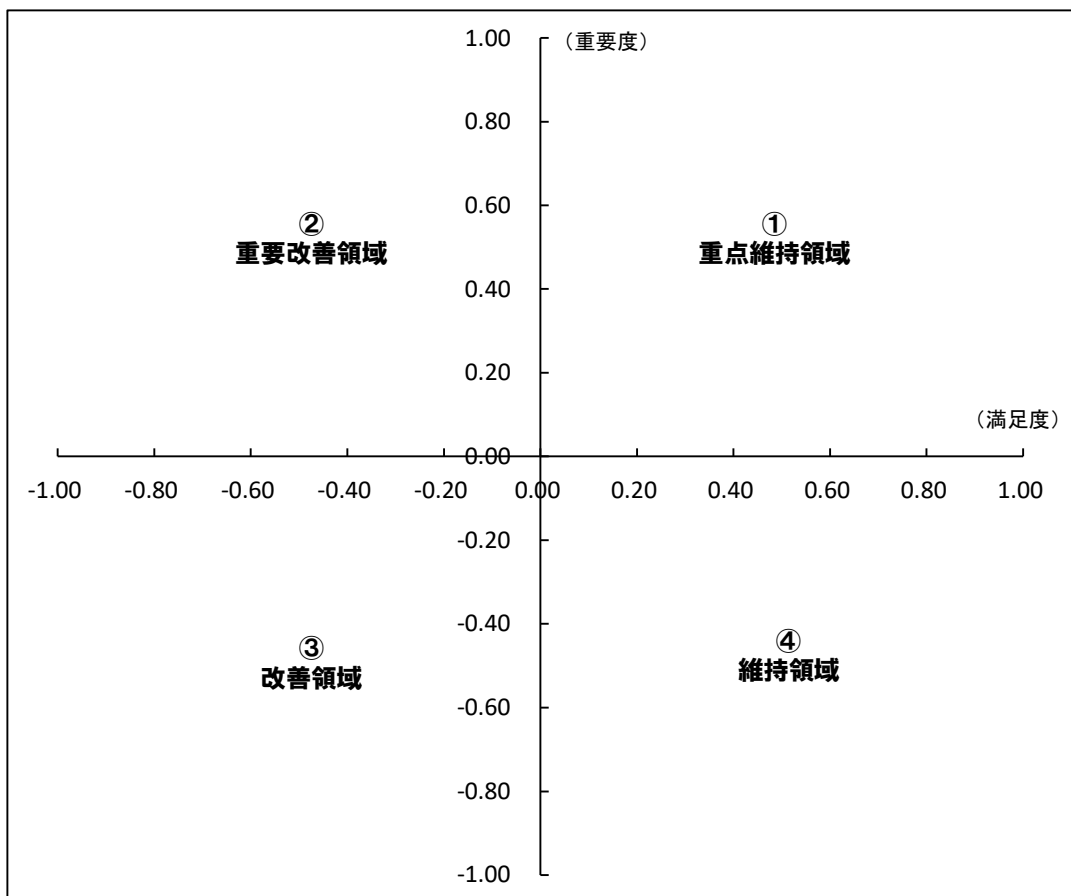
## ○満足度

- ・各項目を5段階評価の評価基準を「非常に満足」＝2点、「満足」＝1点、「どちらともいえない」＝0点、「不満」＝－1点、「非常に不満」＝－2点、として各項目に対する評価を得点化し、平均値（加重平均）を求める。
- ・加重平均が高いほど、その項目に対する満足度が高い。

## ○重要度

- ・各項目を5段階評価の評価基準を「非常に重要」＝2点、「重要」＝1点、「どちらともいえない」＝0点、「あまり重要ではない」＝－1点、「重要ではない」＝－2点、として各項目に対する評価を得点化し、平均値（加重平均）を求める。
- ・加重平均が高いほど、その項目に対する重要度が高い。
- ・散布図の横軸に「満足度」、縦軸に「重要度」をとりグラフ化し、それぞれの基準値に基づいて各項目を4つの領域に区分する。

- |                  |   |           |
|------------------|---|-----------|
| ◇満足度が高く、重要度が高い領域 | ： | 重点維持領域（①） |
| ◇満足度が低く、重要度が高い領域 | ： | 重点改善領域（②） |
| ◇満足度が低く、重要度が低い領域 | ： | 改善領域（③）   |
| ◇満足度が高く、重要度が低い領域 | ： | 維持領域（④）   |



※加重平均：設問の各項目での評価項目を点数化して、その各項目を選択した人数を踏まえた平均値の算出方法

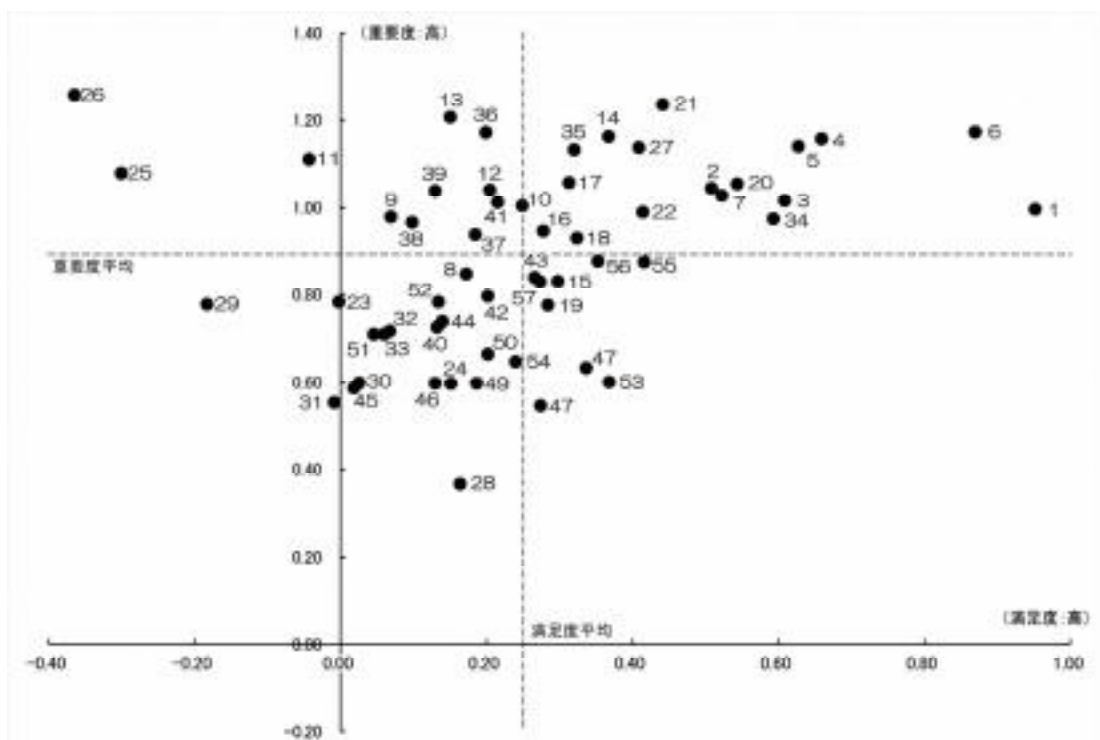
## 〈各項目での満足度・重要度一覧表〉

	項目	満足度	重要度
居住	1. 自然の豊かさ	0.95	1.00
	2. 自然環境の保全	0.51	1.05
	3. 住宅周辺の自然環境	0.61	1.02
	4. 上水道の整備状況	0.66	1.16
	5. 生活排水の処理状況	0.63	1.14
	6. ごみの収集状況	0.87	1.17
	7. 廃棄物の減量やリサイクルの取組状況	0.52	1.03
	8. 省エネルギーの進捗状況	0.17	0.85
	9. 地球温暖化対策	0.07	0.98
	10. 国道、県道などの大きな道路の整備状況	0.25	1.00
	11. 国道、県道以外の生活に密着した町道の整備状況	-0.04	1.11
	12. 地域の交通安全対策	0.20	1.04
	13. 地域の盗難など犯罪からの防犯対策	0.15	1.21
	14. 消防、防災対策	0.37	1.16
	15. 騒音・振動の予防・防止対策	0.30	0.83
	16. 大気汚染の予防・防止対策	0.28	0.95
	17. 水質汚濁の予防・防止対策	0.31	1.06
	18. 町並みの美しさ保全	0.32	0.93
	19. 生物多様性の保全	0.28	0.78
	20. 全体的な居住環境について	0.54	1.06
生活	21. 日常の買い物の便利さ	0.44	1.24
	22. 銀行や郵便局などの金融機関の立地状況	0.41	0.99
	23. 娯楽施設や余暇施設(公園など)の立地状況	0.00	0.78
	24. 地域の公民館(集会所)の整備状況	0.15	0.60
	25. 鉄道やバスなどの公共交通の状況	-0.30	1.08
	26. 食料品や日常生活品の値段	-0.36	1.26
	27. 全体的な生活環境について	0.41	1.14
	28. 防災訓練や祭り、運動会などの地域行事	0.16	0.37
産業	29. 働く場所や就業機会の多さ	-0.18	0.78
	30. 農林業の振興・整備状況	0.03	0.60
	31. 工業の振興・整備状況	-0.01	0.55
	32. 商業・サービス業の振興・整備状況	0.07	0.72
	33. 全体的な産業環境について	0.06	0.71
保健・医療・福祉	34. 住民健診などの保健予防体制	0.59	0.97
	35. 医療機関の整備状況	0.32	1.13
	36. 救急医療体制	0.20	1.17
	37. 児童施設等の子育て支援体制	0.18	0.94
	38. 出産応援金やこども医療費助成などの少子化対策	0.10	0.97
	39. 高齢者に対する介護保険サービスなど	0.13	1.04
	40. 糖尿病や肥満など生活習慣病対策	0.13	0.73
	41. 全体的な保健・医療・福祉環境について	0.21	1.01
	42. 保育園などの設置状況	0.20	0.80
	教育・文化	43. 幼稚園、小・中学校の施設の整備状況	0.27
44. 教職員などの配置数の状況		0.14	0.74
45. スポーツやレクリエーション施設の整備状況		0.02	0.59
46. 社会人や高齢者のための生涯学習などの状況		0.13	0.60
47. 文化施設(図書館や美術館など)の整備状況		0.34	0.63
48. 文化財などの保存・整備状況		0.27	0.55
49. 環境教育・環境学習などの状況		0.19	0.60
50. 全体的な教育・文化環境について		0.20	0.66
行政		51. 【男女共同参画】女性の仕事や結婚、出産、育児に関するライフスタイル	0.05
	52. 行政や暮らしに対する住民相談	0.13	0.78
	53. 町広報や回覧などの町の広報活動	0.37	0.60
	54. 町の情報発信(SNSなど)の整備状況	0.24	0.65
	55. 役場の職員の対応・態度	0.42	0.88
	56. 役場の事務処理のスピード	0.35	0.88
	57. 全体的な行政の諸活動や行政運営について	0.27	0.83

町の実施策全体では57施策のうち、51施策が重点維持領域となっていますが、その他の6施策は重点改善領域に位置しています。  
特に満足度では「26. 食料品や日常生活品の値段」、重要度では「防災訓練や祭り、運動会などの地域行事」が低い施策となっています。

取組施策の満足度では、「1. 自然の豊かさ」「6. ごみの収集状況」「4. 上水道の整備状況」「5. 生活排水の処理状況」「3. 住宅周辺の自然環境」「34. 住民健診などの保健予防体制」などが高くなっています。

また、重要度では、「26. 食料品や日常生活品の値段」「21. 日常の買い物の便利さ」「13. 地域の盗難など犯罪からの防犯対策」などが高くなっています。



〈各項目での評価分類表〉

高い ↑ 【重要度】 ↓ 低い	<p>＜施策タイプⅠ＞                      重要度が高いが、満足度が低いため、<u>力を入れて取り組むべき施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(9) 地球温暖化対策</li> <li>(11) 国道、県道以外の生活に密着した町道の整備状況</li> <li>(12) 地域の交通安全対策</li> <li>(13) 地域の盗難など犯罪からの防犯対策</li> <li>(25) 鉄道やバスなどの公共交通の状況</li> <li>(26) 食料品や日常生活品の値段</li> <li>(36) 救急医療体制</li> <li>(37) 児童施設等の子育て支援体制</li> <li>(38) 出産助産費やこども医療費助成などの少子化対策</li> <li>(39) 高齢者に対する介護保険サービスなど</li> <li>(41) 全体的な保健・医療・福祉環境について</li> </ul>	<p>＜施策タイプⅡ＞                      重要度が高いが、満足度も高いため、<u>現状維持を図るべき施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自然の豊かさ</li> <li>(2) 自然環境の保全</li> <li>(3) 住宅周辺の自然環境</li> <li>(4) 上水道の整備状況</li> <li>(5) 生活排水の処理状況</li> <li>(6) ごみの収集状況</li> <li>(7) 廃棄物の減量やリサイクルの取組状況</li> <li>(10) 国道、県道などの大きな道路の整備状況</li> <li>(14) 消防、防災対策</li> <li>(16) 大気汚染の予防・防止対策</li> <li>(17) 水質汚濁の予防・防止対策</li> <li>(18) 町並みの美しさ保全</li> <li>(20) 全体的な居住環境について</li> <li>(21) 日常の買い物の便利さ</li> <li>(22) 銀行や郵便局などの金融機関の立地状況</li> <li>(27) 全体的な生活環境について</li> <li>(34) 住民健診などの保健予防体制</li> <li>(35) 医療機関の整備状況</li> </ul>
	<p>＜施策タイプⅢ＞                      満足度が低いが、重要度も低いため、<u>状況に応じて取り組むべき施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(8) 省エネルギーの進捗状況</li> <li>(23) 娯楽施設や余暇施設（公園など）の立地状況</li> <li>(24) 地域の公民館（集会所）の整備状況</li> <li>(28) 防災訓練や祭り、運動会などの地域行事</li> <li>(29) 働く場所や就業機会の多さ</li> <li>(30) 農林業の振興・整備状況</li> <li>(31) 工業の振興・整備状況</li> <li>(32) 商業・サービス業の振興・整備状況</li> <li>(33) 全体的な産業環境について</li> <li>(40) 糖尿病や肥満など生活習慣病対策</li> <li>(42) 保育園などの設置状況</li> <li>(44) 教職員などの配置数の状況</li> <li>(45) スポーツやレクリエーション施設の整備状況</li> <li>(46) 社会人や高齢者のための生涯学習などの状況</li> <li>(49) 環境教育・環境学習などの状況</li> <li>(51) 【男女共同参画】女性の仕事や結婚、出産、育児に関するライフスタイル</li> <li>(52) 行政や暮らしに対する住民相談</li> <li>(54) 町の情報発信（SNS など）の整備状況</li> <li>(55) 役場の職員の対応・態度</li> </ul>	<p>＜施策タイプⅣ＞                      満足度が高いが、重要度は低いため、<u>力を入れる必要が低い施策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(15) 騒音・振動の予防・防止対策</li> <li>(19) 生物多様性の保全</li> <li>(43) 幼稚園、小・中学校の施設の整備状況</li> <li>(47) 文化施設（図書館や美術館など）の整備状況</li> <li>(48) 文化財などの保存・整備状況</li> <li>(53) 町広報や回覧などの町の広報活動</li> <li>(55) 役場の職員の対応・態度</li> <li>(56) 役場の事務処理のスピード</li> <li>(57) 全体的な行政の諸活動や行政運営について</li> </ul>

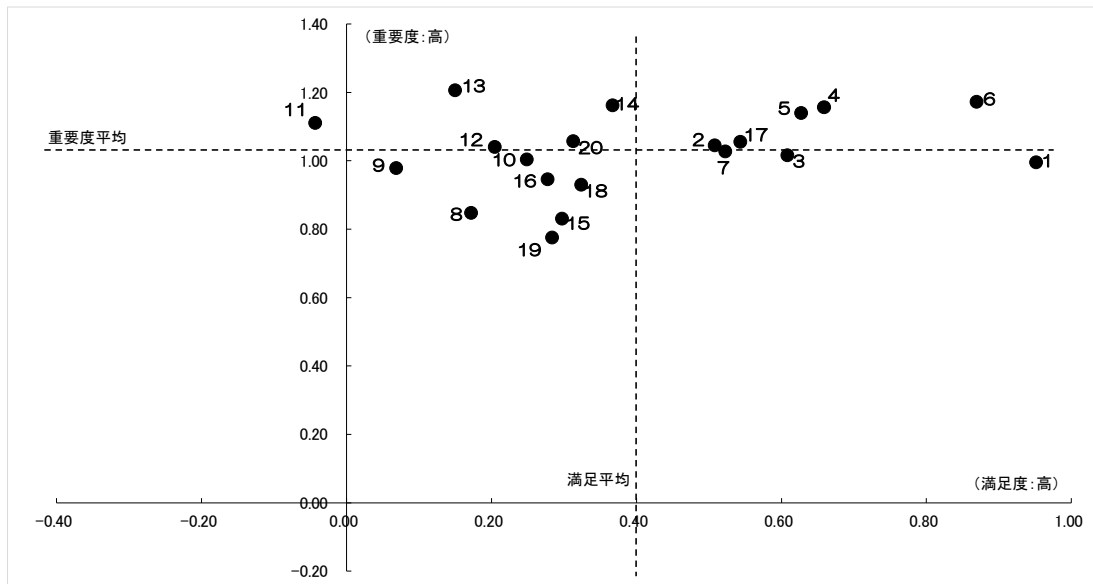
低い ← 【満足度】 → 高い

居住に関する項目でみると、満足度では「11. 国道、県道以外の生活に密着した町道の整備状況」、重要度では「19. 生物多様性の保全」が低い施策となっています。

居住に関する項目の満足度では、「1. 自然の豊かさ」が最も高く、「11. 国道、県道以外の生活に密着した町道の整備状況」が最も低くなっています。

また、重要度では、「13. 地域の盗難など犯罪からの防犯対策」が最も高く、「19. 生物多様性の保全」が最も低くなっています。

### 〈居住〉



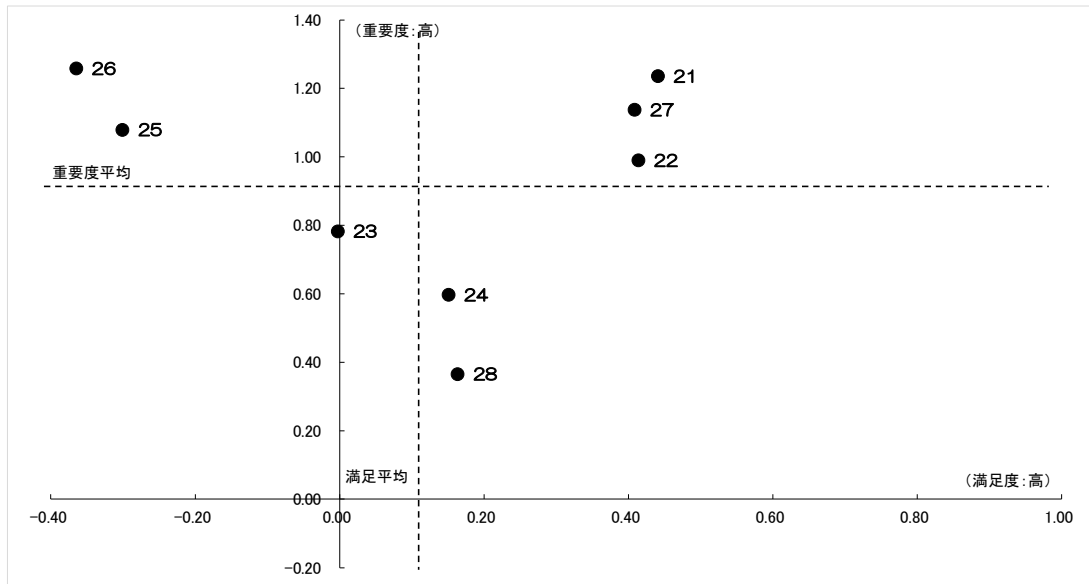
番号	施策	番号	施策
1	自然の豊かさ	11	国道、県道以外の生活に密着した町道の整備状況
2	自然環境の保全	12	地域の交通安全対策
3	住宅周辺の自然環境	13	地域の盗難など犯罪からの防犯対策
4	上水道の整備状況	14	消防、防災対策
5	生活排水の処理状況	15	騒音・振動の予防・防止対策
6	ごみの収集状況	16	大気汚染の予防・防止対策
7	廃棄物の減量やリサイクルの取組状況	17	水質汚濁の予防・防止対策
8	省エネルギーの進捗状況	18	町並みの美しさ保全
9	地球温暖化対策	19	生物多様性の保全
10	国道、県道などの大きな道路の整備状況	20	全体的な居住環境について

生活に関する項目でみると、満足度では「26. 食料品や日常生活品の値段」、重要度では「28. 防災訓練や祭り、運動会などの地域行事」が低い施策となっています。

生活に関する項目の満足度では、「21. 日常の買い物の便利さ」が最も高く、「26. 食料品や日常生活品の値段」が最も低くなっています。

また、重要度では、「26. 食料品や日常生活品の値段」が最も高く、「28. 防災訓練や祭り、運動会などの地域行事」が最も低くなっています。

### 〈生活〉



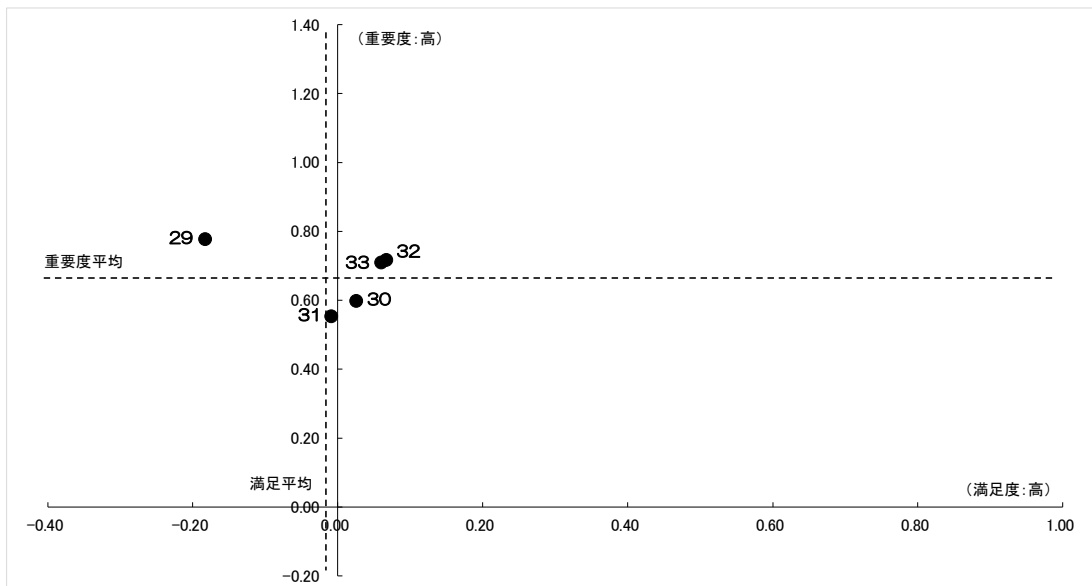
番号	施策	番号	施策
21	日常の買い物の便利さ	25	鉄道やバスなどの公共交通の状況
22	銀行や郵便局などの金融機関の立地状況	26	食料品や日常生活品の値段
23	娯楽施設や余暇施設（公園など）の立地状況	27	全体的な生活環境について
24	地域の公民館（集会所）の整備状況	28	防災訓練や祭り、運動会などの地域行事

産業に関する項目でみると、満足度では「29. 働く場所や就業機会の多さ」、重要度では「31. 工業の振興・整備状況」が低い施策となっています。

産業に関する項目の満足度では、「33. 全体的な産業環境について」が最も高く、「29. 働く場所や就業機会の多さ」が最も低くなっています。

また、重要度では、「29. 働く場所や就業機会の多さ」が最も高く、「31. 工業の振興・整備状況」が最も低くなっています。

### 〈産業〉



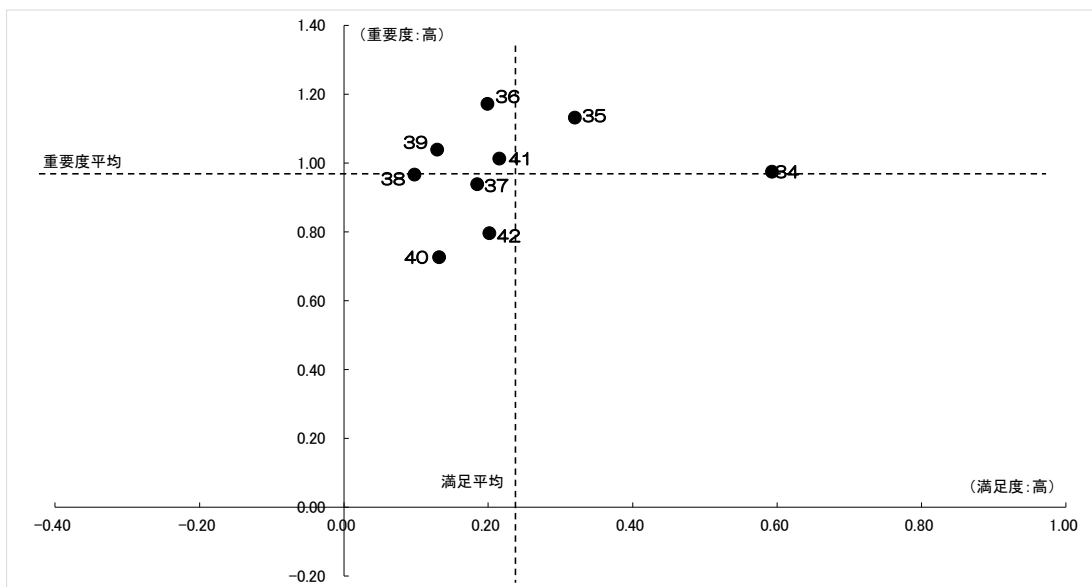
番号	施策	番号	施策
29	働く場所や就業機会の多さ	32	商業・サービス業の振興・整備状況
30	農林業の振興・整備状況	33	全体的な産業環境について
31	工業の振興・整備状況		

保健・医療・福祉に関する項目でみると、満足度では「38. 出産応援金や子ども医療費助成などの少子化対策」、重要度では「40. 糖尿病や肥満など生活習慣病対策」が低い施策となっています。

保健・医療・福祉に関する項目の満足度では、「34. 住民健診などの保健予防体制」が最も高く、「38. 出産応援金や子ども医療費助成などの少子化対策」が最も低くなっています。

また、重要度では、「36. 救急医療体制」が最も高く、「40. 糖尿病や肥満など生活習慣病対策」が最も低くなっています。

### 〈保健・医療・福祉〉



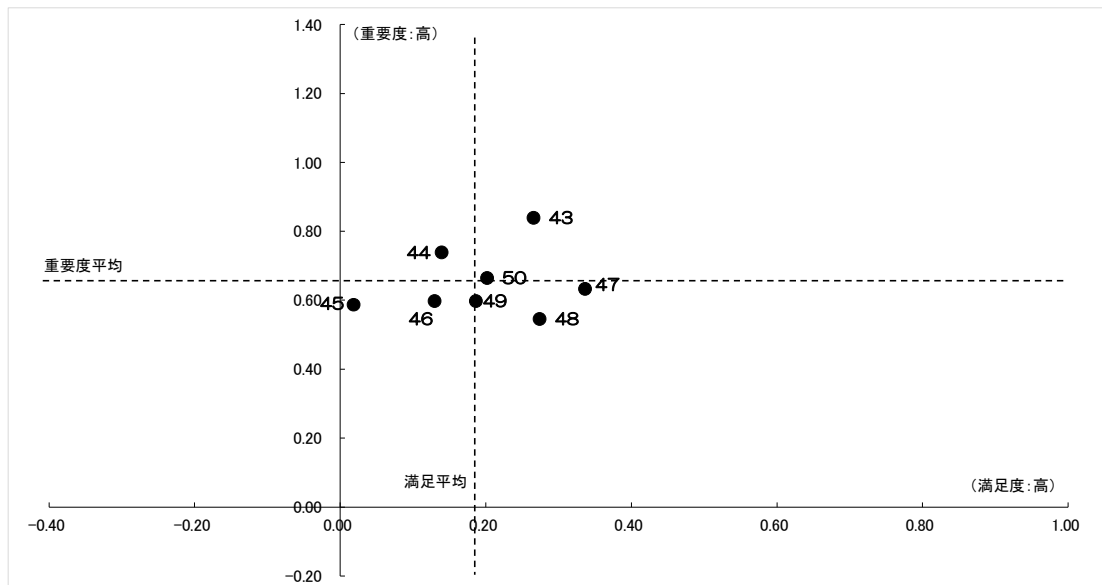
番号	施策	番号	施策
34	住民健診などの保健予防体制	39	高齢者に対する介護保険サービスなど
35	医療機関の整備状況	40	糖尿病や肥満など生活習慣病対策
36	救急医療体制	41	全体的な保健・医療・福祉環境について
37	児童施設等の子育て支援体制	42	保育園などの設置状況
38	出産応援金や子ども医療費助成などの少子化対策		

教育に関する項目でみると、満足度では「45. スポーツやレクリエーション施設の整備状況」、重要度では「48. 文化財などの保存・整備状況」が低い施策となっています。

教育に関する項目の満足度では、「47. 文化施設（図書館や美術館など）の整備状況」が最も高く、「45. スポーツやレクリエーション施設の整備状況」が最も低くなっています。

また、重要度では、「43. 幼稚園、小・中学校の施設の整備状況」が最も高く、「48. 文化財などの保存・整備状況」が最も低くなっています。

### 〈教育・文化〉



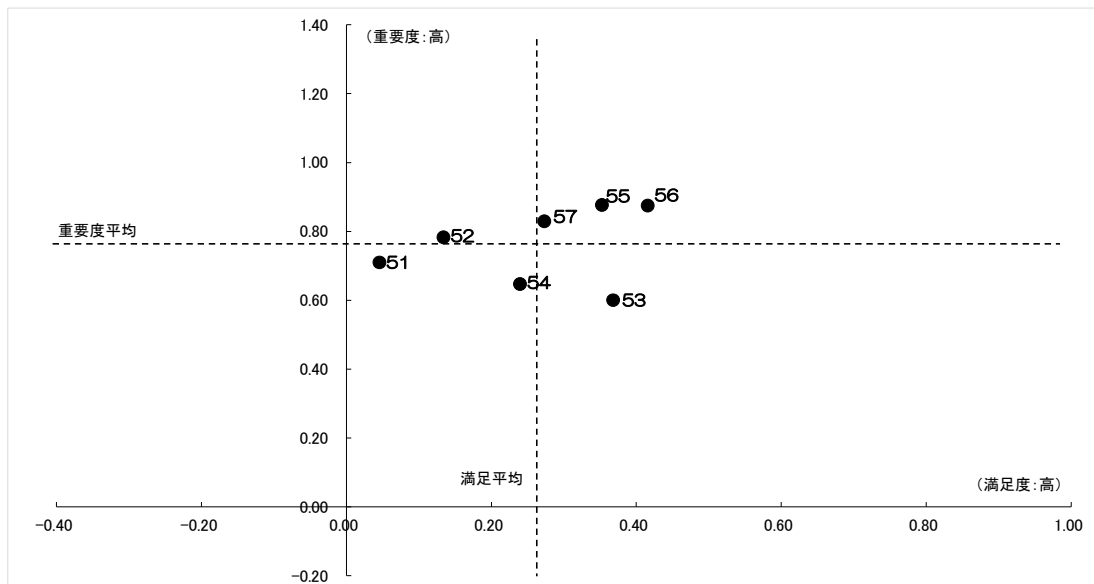
番号	施策	番号	施策
43	幼稚園、小・中学校の施設の整備状況	47	文化施設（図書館や美術館など）の整備状況
44	教職員などの配置数の状況	48	文化財などの保存・整備状況
45	スポーツやレクリエーション施設の整備状況	49	環境教育・環境学習などの状況
46	社会人や高齢者のための生涯学習などの状況	50	全体的な教育・文化環境について

行政に関する項目でみると、満足度では「51. 【男女共同参画】女性の仕事や結婚、出産、育児に関するライフスタイル」、重要度では「53. 町広報や回覧などの町の広報活動」が低い施策となっています。

行政に関する項目の満足度では、「55. 役場の職員の対応・態度」が最も高く、「51. 【男女共同参画】女性の仕事や結婚、出産、育児に関するライフスタイル」が最も低くなっています。

また、重要度では、「55. 役場の職員の対応・態度」とともに「56. 役場の事務処理のスピード」が最も高く、「53. 町広報や回覧などの町の広報活動」が最も低くなっています。

### 〈行政〉



番号	施策	番号	施策
51	【男女共同参画】女性の仕事や結婚、出産、育児に関するライフスタイル	55	役場の職員の対応・態度
52	行政や暮らしに対する住民相談	56	役場の事務処理のスピード
53	町広報や回覧などの町の広報活動	57	全体的な行政の諸活動や行政運営について
54	町の情報発信(SNSなど)の整備状況		

## 問3-2 これからの5年間で、町が最も力を入れるべきだと思う分野や課題

(3つ選択)

人口減少・少子高齢化、交通や社会インフラ、防災・減災などへの取り組みが、最も力を入れていくべき主な分野や課題であると感じています。

これからの5年間で函南町が最も力を入れるべきだと思う分野や課題については、「人口減少・少子高齢化への対応」が41.9%と最も高く、次いで「交通や社会インフラの充実」が31.2%、「防災・減災対策の推進」が29.7%となっています。

その一方で、「多文化共生やダイバーシティの推進」や「地域資源・歴史文化の活用・保存」「新しい挑戦やイノベーションの推進」などでは低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	人口減少・少子高齢化への対応	464	41.9%
2	防災・減災対策の推進	329	29.7%
3	ウェルビーイング(幸福度)について	97	8.8%
4	健康づくり、地域医療及び福祉体制の充実	220	19.9%
5	子育て・教育環境の充実	263	23.8%
6	働く場・雇用の創出、活力ある産業の振興	261	23.6%
7	良好な自然や景観・環境の保全	158	14.3%
8	SDGs・脱炭素社会の推進	41	3.7%
9	デジタル・ICTの活用と利便性向上	39	3.5%
10	交通や社会インフラの充実	345	31.2%
11	地域資源・歴史文化の活用・保存	27	2.4%
12	地域コミュニティ・町民参加・「助け合い」の仕組みの充実	75	6.8%
13	多文化共生やダイバーシティ(多様性)の推進	18	1.6%
14	新しい挑戦やイノベーション(革新・刷新)の促進	29	2.6%
15	空き家・土地活用の促進	240	21.7%
16	住みやすい住宅・町並みの形成	160	14.5%
17	中心市街地の活性化	78	7.0%
18	未来の(20年後・30年後の)函南町のまちづくり	171	15.4%
19	社会情勢の変化への対応(10年後を見据えた)	110	9.9%
20	その他( )	29	2.6%
	無回答	47	4.2%
N	(%ベース)	1,107	

## 問4-1 あなたが思い描く「20年後の理想の函南町」について（3つ選択）

「子どもから高齢者までが安心して健康に暮らせるまち」「災害に強く安全・安心なまち」「道路や建物が整備されていて快適に過ごせるまち」などが20年後の理想の函南町として望まれています。

20年後の理想に函南町については、「子どもから高齢者まで安心して健康に暮らせるまち」が67.6%で最も高く、次いで「災害に強く安全・安心なまち」が54.9%、「道路や建物が整備されていて快適に過ごせるまち」が33.6%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	子どもから高齢者まで安心して健康に暮らせるまち	748	67.6%
2	町民がお互いに支え合い、協力し合えるまち	116	10.5%
3	働く場や産業が充実したまち	249	22.5%
4	環境にやさしく、美しい自然や景観を大切にするまち	291	26.3%
5	デジタル技術で便利な暮らしができるまち	88	7.9%
6	多様な人が交流し認め合えるまち	49	4.4%
7	災害に強く安全・安心なまち	608	54.9%
8	歴史や文化を大切に、守り続けるまち	74	6.7%
9	新しいチャレンジを応援するまち	66	6.0%
10	自分の「やりたいこと」に挑戦できるまち	40	3.6%
11	町民の声が反映されるまち	275	24.8%
12	多様な人が認め合えるまち	30	2.7%
13	子育てにやさしいまち	224	20.2%
14	道路や建物が整備されていて快適に過ごせるまち	372	33.6%
15	その他（ ）	16	1.4%
	無回答	16	1.4%

## 問4-2 あなたが現在の暮らしの中で不安や心配に感じていることについて

(3つ選択)

「物価高騰・生活費の上昇」「地震や台風などの災害」などが不安や心配事となっています。

あなたが現在の暮らしの中で不安や心配に感じていることについては、「物価高騰・生活費の上昇」が52.9%で最も高く、次いで「地震や台風などの災害」が49.3%となっています。一方で「デジタル格差や情報の不安」が3.1%と最も低く、次いで「孤独や人とのつながりの少なさ」が4.1%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	地震や台風などの災害	546	49.3%
2	気候変動・異常気象(猛暑・大雨など)	376	34.0%
3	物価高騰・生活費の上昇	586	52.9%
4	仕事や収入の不安	194	17.5%
5	子育て・教育に関する不安	114	10.3%
6	自分や家族の健康・医療	218	19.7%
7	高齢になったときの生活・介護	398	36.0%
8	交通・移動手段の不便さ	306	27.6%
9	孤独や人とのつながりの少なさ	45	4.1%
10	デジタル格差や情報の不安	34	3.1%
11	防犯や治安の不安	161	14.5%
12	空き家の増加や地域活力の低下	107	9.7%
13	環境の悪化(ごみ・騒音・自然破壊など)	59	5.3%
14	道路が狭く、雑然としているため通行しにくい	107	9.7%
15	その他( )	20	1.8%
	無回答	12	1.1%
	N (%ベース)	1,107	

問4-3 「高齢化」や「人口減少」が進む中で、あなたが感じていることについて  
(3つ選択)

「将来に地域での介護や生活支援」、「高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせるまち」、「医療機関や医療・保健サービスの減少」などが不安や心配事となっています。

高齢化や人口減少が進む中で感じていることについては、「将来、地域で介護や生活支援を受けられるか不安」が最も高く 51.4%、次いで「高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせる町になってほしい」が 49.6%、「医療機関や医療・保健サービスの減少が心配」が 46.3%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	将来、地域で介護や生活支援を受けられるか不安	569	51.4%
2	近所の高齢者の見守りや支え合いが必要だと感じる	196	17.7%
3	若い人や子どもが減り、地域がさびしくなるのが心配	311	28.1%
4	空き家や空き地が増えることへの不安	194	17.5%
5	地域の行事や活動の担い手が不足することへの不安	147	13.3%
6	高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせる町になってほしい	549	49.6%
7	若い世代も住みやすい町になってほしい	410	37.0%
8	世代を超えた交流や支え合いに期待したい	111	10.0%
9	医療機関や医療・保健サービスの減少が心配	512	46.3%
10	特に不安や期待はない	28	2.5%
11	その他( )	15	1.4%
	無回答	27	2.4%
	N (%^ -入)	1,107	

## 問4-4 これからの函南町の“デジタル化”や“IT技術の活用”について

(3つ選択)

デジタル化による行政手続や相談のオンライン、買い物や配達、暮らしが便利になるだけでなく、対面での交流や相談、苦手な人へのサポートなどへの対応も期待されています。

これからの函南町のデジタル化やIT技術の活用については、「デジタル化だけではなく、対面での交流や相談も大切にしてほしい」が44.3%で最も高く、次いで「行政手続や相談がオンラインできると便利だと思う」が43.4%、「高齢者やITが苦手な人へのサポート・教室が必要だと思う」が40.2%、「デジタル化より買い物や配達、暮らしが便利になってほしい」が35.7%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	行政手続や相談がオンラインできると便利だと思う	480	43.4%
2	オンラインで医療・健康相談を受けられると安心	277	25.0%
3	デジタル化により買い物や配達、暮らしが便利になってほしい	395	35.7%
4	学校や地域でデジタル学習や交流がもっとできるとよい	125	11.3%
5	高齢者やITが苦手な人へのサポート・教室が必要だと思う	445	40.2%
6	地域の防災・見守りにデジタル技術(例:アプリや防災メール)を活かしてほしい	201	18.2%
7	デジタル化だけでなく、対面での交流や相談も大切にしてほしい	490	44.3%
8	デジタル化の推進で、町の活性化や働く場が増えることを期待したい	194	17.5%
9	デジタル技術を活用した“町の情報発信”や“魅力PR”を進めてほしい	116	10.5%
10	特に関心はない/今のままでよい	83	7.5%
11	その他( )	22	2.0%
	無回答	33	3.0%
	N (%^-ス)	1,107	

## 問4-5 問4-4で「10. 特に関心はない／今のままでよい」と回答した理由

(自由記述)

分類	内容	回答者数
高齢者が取り残されることへの不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を取り残すことにつながる</li> <li>・老人家族は進歩についていくのが大変です</li> <li>・歳を取ってくるときっと順応できるかわからなくなってくると思うから</li> <li>・加齢に伴いデジタル化についていけなくなる人が増えると思う</li> <li>・利用できない人に対しての対策を考える。先に進むだけではなく取り残される人がいる。きめ細やかな対応が必要</li> </ul> 等	15名
現状に満足／無理に進めなくともよい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や時代が後押しすると思うから無理に進めなくても良いと思う</li> <li>・今のままで不便を感じないから</li> <li>・不便じゃない</li> <li>・今くらいでちょうどいい。これ以上になると高齢者はついていけない</li> </ul> 等	12名
興味・関心がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心がないから</li> <li>・あまり興味がない</li> </ul> 等	9名
操作への不安感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルを学習しようという意欲がない</li> <li>・デジタルに苦手意識を感じる</li> <li>・デジタル化は操作が複雑で情報漏洩も心配</li> <li>・紙で管理したい。ITが苦手なので困る</li> </ul> 等	7名
必要に応じて進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて対応していけばよい</li> <li>・全てがデジタル化という風にはならなくてもいいと思うが、手続きなどがオンライン上でできるという選択もあれば、忙しい若者や時間の取れない方々にとってはいいと思う</li> </ul> 等	4名
デジタル化による煩雑さの増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化で不便になったと感じているから。パスワードや何やらが多くなり、どれを使用しているか分からなくなり紙で届いたカードの明細等も届かなくなり、パソコンで確認することも大変です</li> <li>・数年前のコロナワクチンの申込にも苦労したのであまりにもデジタル化するとついていけない。同居する息子に聞けるうちはよいが、聞く人がいなくなったとき不安</li> </ul> 等	3名
デジタル化不必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やれないのではなく、やらない！これからも人対人</li> <li>・みんながみんなデジタル（スマホ等）を使いオンラインとしてつながるものではない</li> </ul> 等	2名
その他		2名

## 問5-1 参加してみたい地域活動（複数回答）

花や木の植え、育てる緑化の推進や、地域の美化や清掃、地域での各種イベントへ活動、身近な自然や公園などの維持管理などが高い参加意向となっています。

参加しても良いと思う活動については、「花や木を植え、育てる緑化推進活動」が24.1%で、次いで「地域の美化や清掃などの活動」が22.0%、「地域の防災訓練や祭り、スポーツ大会などのイベント活動」が18.4%、「身近な自然や公園などの維持管理活動」が17.9%となっています。その一方で「参加したい活動はない」が32.4%で最も高くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	地域の伝統文化や技術を子どもたちに伝える活動	139	12.6%
2	介護を必要とされている方などへの介護活動	121	10.9%
3	地域の美化や清掃などの活動	243	22.0%
4	身近な自然や公園などの維持管理活動	198	17.9%
5	資源のリサイクルやごみの減量化に関わる活動	131	11.8%
6	花や木を植え、育てる緑化推進活動	267	24.1%
7	観光客などへの観光案内活動	84	7.6%
8	地域の防災訓練や祭り、スポーツ大会などのイベント活動	204	18.4%
9	参加したい活動はない	359	32.4%
10	その他（具体的に： ）	27	2.4%
	無回答	54	4.9%
N	(%^-ス)	1,107	

## 問5-2 将来の町民参加・協働（複数回答）

イベントやボランティア活動などへの参加、若者や子どもの参画できる仕組みづくりなどが協働のまちづくりとして期待されています。

これからの「まちづくりに関わる方法」として、今後もっと増やしてほしいもの、あなた自身がやってみたいと思うものについては、「イベントやボランティア活動への参加」が21.5%で、次いで「町的意思決定に若者や子どもも参加できる仕組み」が20.6%、「民間企業や大学等との連携プロジェクト」が15.6%となっています。その一方で「特に興味はない/参加の予定はない」が35.0%で最も高くなっています。

また、町民参加・協働に課題となっている主な理由は、「どんな活動があるか、よく分からない」「参加できる時間がない（仕事・学校・家事などが忙しい）」などが挙げられています。

No.		件数	(全体)%
1	ワークショップや町民会議への参加	120	10.8%
2	SNSやインターネットを活用した情報発信	149	13.5%
3	オンライン上での意見交換や住民アンケート	114	10.3%
4	イベント・ボランティア活動への参加	238	21.5%
5	地域プロジェクトの企画・運営	114	10.3%
6	町的意思決定に若者や子どもも参画できる仕組み	228	20.6%
7	民間企業や大学等との連携プロジェクト	173	15.6%
8	特に興味はない/参加の予定はない	387	35.0%
9	その他（ ）	19	1.7%
	無回答	66	6.0%
	N（%ベース）	1,107	

## 問5-3 町民参加・協働の課題になっているもの（3つ選択）

「どんな活動があるか、よく分からない」「参加できる時間がない（仕事・学校・家事などが忙しい）」などが町民参加や協働への課題になっています。

町のまちづくりや地域活動に参加したり、協働したりする上で、参加しにくい、続けにくい、気が進まないなどの理由については、「どんな活動があるか、よく分からない」が47.3%で最も高く、次いで「参加できる時間がない（仕事・学校・家事などが忙しい）」が41.9%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	どんな活動があるか、よく分からない	524	47.3%
2	参加できる時間がない（仕事・学校・家事などが忙しい）	464	41.9%
3	役割や責任が重そうで不安	272	24.6%
4	知り合い・仲間がなくて参加しづらい	270	24.4%
5	同世代が少なく、世代ギャップを感じる	79	7.1%
6	興味の持てるテーマがない	175	15.8%
7	活動場所や交通手段が不便	164	14.8%
8	感染症などのリスクを考え、人と会うのが不安	55	5.0%
9	体調や健康面の不安がある	202	18.2%
10	気軽に参加できないイメージがある	300	27.1%
11	なんとなく	86	7.8%
12	その他（ ）	26	2.3%
	無回答	70	6.3%
	N（%へ入）	1,107	

## 問6-1 あなたが考える函南町の環境における理想のイメージ（3つ選択）

「安心して暮らせるまち」「災害に強いまち」などが環境における理想のイメージとなっています。

あなたが考える函南町の環境における理想のイメージについては、「安心して暮らせるまち」が72.6%で最も高く、次いで「災害に強いまち」が41.6%となっています。一方で「温室効果ガス排出量実質ゼロのまち」が1.6%と最も低く、次いで「新エネと省エネが共存するまち」が2.6%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	安心して暮らせるまち	804	72.6%
2	空気がきれいなまち	207	18.7%
3	ごみがないきれいなまち	156	14.1%
4	温室効果ガス排出量実質ゼロのまち	18	1.6%
5	3R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）推進のまち	62	5.6%
6	景観の美しいまち	177	16.0%
7	環境活動・教育が活発なまち	145	13.1%
8	自然と共生するまち	311	28.1%
9	災害に強いまち	461	41.6%
10	歴史・文化を大切にするまち	89	8.0%
11	健康で暮らせるまち	372	33.6%
12	SDGs（持続可能）なまち	35	3.2%
13	豊かな水と緑があるまち	331	29.9%
14	新エネと省エネが共存するまち	29	2.6%
15	その他（ ）	17	1.5%
	無回答	16	1.4%
	N（%ベース）	1,107	

問 7-1 脱炭素社会や気候変動への対応のため、あなたが日常生活で気を付けていること（複数選択）

「不要な電気をこまめに消すなどの節電」「買い物でエコバッグやマイボトルを使う」などが日常生活で気を付けていることとなっています。

脱炭素社会や気候変動への対応のため、あなたが日常生活で気を付けていることについては、「不要な電気をこまめに消すなどの節電」が 65.4%で最も高く、次いで「買い物でエコバッグやマイボトルを使う」が 64.9%となっています。一方で「自家用車の利用を減らし、徒歩・自転車・公共交通を利用する」が 3.1%と最も低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	省エネ家電・LED照明の利用	590	53.3%
2	エアコンや暖房の適切な温度設定	623	56.3%
3	不要な電気をこまめに消す などの節電	724	65.4%
4	断熱性の高いカーテンや窓の活用	213	19.2%
5	自動車のアイドリングストップ、エコドライブ	292	26.4%
6	自家用車の利用を減らし、徒歩・自転車・公共交通を利用する	98	8.9%
7	太陽光発電など再生可能エネルギーの利用	129	11.7%
8	ごみの分別・リサイクル・食品ロス削減	613	55.4%
9	買い物でエコバッグやマイボトルを使う	718	64.9%
10	地元産の食材・製品を選ぶ	260	23.5%
11	特に実践していない	40	3.6%
12	その他（ ）	6	0.5%
	無回答	14	1.3%
N	(%ベース)	1,107	

## 問7-2 今後、函南町が優先して取り組むべき「脱炭素化・気候変動対策」

(3つ選択)

「豪雨・猛暑など気候変動に備えた防災・減災対策の強化」「ごみの分別・リサイクル・食品ロス削減の強化」などが優先して取り組むべきものとなっています。

今後、函南町が優先して取り組むべき「脱炭素化・気候変動対策」については、「豪雨・猛暑など気候変動に備えた防災・減災対策の強化」が 59.3%で最も高く、次いで「ごみの分別・リサイクル・食品ロス削減の強化」が 36.1%となっています。一方で「企業や事業所の省エネ・脱炭素への支援」が 6.9%と最も低く、次いで「環境教育や脱炭素に関する住民啓発の推進（学校・地域での学び）」が 7.6%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	省エネ住宅や再生可能エネルギーの導入促進（太陽光発電、断熱改修など）	226	20.4%
2	公共施設の省エネ化・再生可能エネルギーの推進（学校・役場などのモデル化）	271	24.5%
3	電気自動車や充電設備など次世代車の普及支援	140	12.6%
4	公共交通や自転車・徒歩利用の促進（地域交通、シェアサイクル等）	205	18.5%
5	ごみの分別・リサイクル・食品ロス削減の強化	400	36.1%
6	地産地消や地域産業による CO <sub>2</sub> 削減の推進 農業・商業との連携	154	13.9%
7	森林 や 里山 の 保 全 ・ 再 生 に よ る CO <sub>2</sub> 吸収対策	296	26.7%
8	緑化や水辺整備など、自然と共生するまちづくりの推進	284	25.7%
9	豪雨・猛暑など気候変動に備えた防災・減災対策の強化	657	59.3%
10	環境教育や脱炭素に関する住民啓発の推進（学校・地域での学び）	84	7.6%
11	企業や事業所の省エネ・脱炭素への支援	76	6.9%
12	その他（ ）	12	1.1%
	無回答	54	4.9%
	N（%ベース）	1,107	

## 問8-1 ウェルビーイングについて

ウェルビーイングの認知度は3割に留まっています。

ウェルビーイングの認知度については、知らないと回答した人が約7割（65.2%）を占め、知っていると回答した人の3割（31.7%）を大きく上回っています。

No.		件数	(全体)%
1	知っている	351	31.7%
2	知らない	722	65.2%
	無回答	34	3.1%
N	(%ベース)	1,107	100.0%

## 問8-2 幸せや充実を感じる瞬間（複数選択）

「健康で元気に過ごせているとき」「家族や友人と過ごす時間があるとき」などが幸せや充実を感じる瞬間となっています。

幸せや充実を感じる瞬間については、「健康で元気に過ごせているとき」が72.1%で最も高く、次いで「家族や友人と過ごす時間があるとき」が67.5%、「食事がおいしいと感じるとき」が58.1%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	家族や友人と過ごす時間があるとき	747	67.5%
2	自然を身近に感じることができるとき	443	40.0%
3	地域の行事やイベントに参加したとき	107	9.7%
4	健康で元気に過ごせているとき	798	72.1%
5	仕事や学びに打ち込んでいるとき	224	20.2%
6	新しいことに挑戦できたとき	180	16.3%
7	地域の人と助け合いを感じたとき	180	16.3%
8	趣味や好きなことに没頭できるとき	550	49.7%
9	町の美しさや季節の変化を感じたとき	345	31.2%
10	食事がおいしいと感じるとき	643	58.1%
11	その他（ ）	13	1.2%
	無回答	22	2.0%

## 問 8-3 直近の5年間で踏まえた幸福度

直近5年間の幸福度は「7点」が2割以上で最も高く、平均値としては6.3点となっています。

直近5年間の幸福度については、10点満点中で「7点」が24.5%で最も多く、次いで「8点」が17.4%、「5点」が16.6%、「6点」が13.6%となり、5～8点を回答した人が約7割（72.1%）となっています。

No.		件数	(全体)%
1	0点	5	0.5%
2	1点	11	1.0%
3	2点	25	2.3%
4	3点	29	2.6%
5	4点	70	6.3%
6	5点	184	16.6%
7	6点	150	13.6%
8	7点	271	24.5%
9	8点	193	17.4%
10	9点	43	3.9%
11	10点	93	8.4%
	無回答	33	2.9%
N	(% <sup>^</sup> -入)	1,107	100.0%

## 問8-4 幸福度を判断する際に重視する事項（3つ選択）

「健康状況」「家計の状況」などが幸福度を判断する際に特に重視されています。

問8-3で幸福度を判断する際に重視した事項については、「健康状況」が66.0%で最も高く、次いで「家計の状況」が46.3%、「家族関係」が45.3%、「精神的なゆとり」が42.7%となっています。一方で「地域コミュニティとの関係」が2.3%と最も低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	家計の状況	513	46.3%
2	健康状況	731	66.0%
3	充実した余暇	132	11.9%
4	精神的なゆとり	473	42.7%
5	家族関係	501	45.3%
6	就業状況	53	4.8%
7	職場の人間関係	63	5.7%
8	自由な時間	252	22.8%
9	仕事の充実度	121	10.9%
10	趣味、社会貢献などの生きがい	140	12.6%
11	友人関係	130	11.7%
12	地域コミュニティとの関係	26	2.3%
13	その他（ ）	15	1.4%
	無回答	41	3.7%
	N（%ベース）	1,107	

## 問8-5 これからの町に期待すること（3つ選択）

自然や景観を楽しむ場所や活動、住民の声を活かしたまちづくり、居場所づくり、地域でのつながりなどが期待されています。

これからの函南町でウェルビーイングを高めるために期待することについては、「自然や景観を楽しむ場所・活動の充実」が44.3%で最も高く、次いで「住民の声を活かしたまちづくりの推進」が40.6%、「心の健康や相談体制の充実」が35.2%、「子育て世代や高齢者の居場所の支援」が34.8%、「孤立や孤独を防ぐ地域のつながりづくり」が31.3%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	心の健康や相談体制の充実	390	35.2%
2	運動やスポーツを楽しめる施設・場所の充実	325	29.4%
3	孤立や孤独を防ぐ地域のつながりづくり	346	31.3%
4	幅広い年代が集える交流の場やイベント	169	15.3%
5	子育て世代や高齢者の居場所の支援	385	34.8%
6	自然や景観を楽しむ場所・活動の充実	490	44.3%
7	生きがいを感じられる仕事や学びの機会	337	30.4%
8	新しいことに挑戦しやすい環境や支援	197	17.8%
9	住民の声を活かしたまちづくりの推進	449	40.6%
10	その他（ ）	35	3.2%
	無回答	26	2.3%
N	(%ベース)	1,107	

## 問9-1 居住エリアや生活拠点（3つ選択）

「医療・福祉・商業などの生活サービス施設が近い場所」「安心・安全な場所」「駅やバス停など交通の便が良い場所」などが住みたい・住み続けたいエリアとして望まれています。

あなたが思う「住みたい・住み続けたいエリア」の特徴については、「医療・福祉・商業などの生活サービス施設が近い場所」が 69.6%、「安全・安心な場所」が 69.2%、「駅やバス停など交通の便が良い場所」が 67.8%となっており、約7割が回答しています。

No.		件数	(全体)%
1	駅やバス停など交通の便が良い場所	750	67.8%
2	医療・福祉・商業などの生活サービス施設が近い場所	770	69.6%
3	公園や緑地が身近にある場所	290	26.2%
4	歴史・文化を感じられる地域	46	4.2%
5	地域コミュニティ活動が活発な地域	60	5.4%
6	新しい住宅団地や開発が進んでいる地域	42	3.8%
7	静かで自然豊かな場所	385	34.8%
8	安全・安心な場所	766	69.2%
9	その他（ ）	13	1.2%
	無回答	50	4.5%
N	(%ベース)	1,107	

## 問9-2 今後の町の中心拠点づくり（3つ選択）

「医療・福祉サービスの充実した拠点」「商業・買い物が便利な拠点」などが特に力を入れてほしい拠点機能として望まれています。

今後、函南町のまちづくりで「特に力を入れてほしい拠点機能」については、「医療・福祉サービスの充実した拠点」が61.4%で最も高く、次いで「商業・買い物が便利な拠点」が51.8%となっています。一方で「コンパクトシティの拠点」が4.6%と最も低く、次いで「若者・多世代交流の拠点」が6.2%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	医療・福祉サービスの充実した拠点	680	61.4%
2	子育て・教育・交流のための拠点	258	23.3%
3	商業・買い物が便利な拠点	573	51.8%
4	公園・緑地・運動・レクリエーションの拠点	204	18.4%
5	高齢者や障がい者が利用しやすい拠点	308	27.8%
6	防災や避難のための安全な拠点	423	38.2%
7	公共交通でアクセスしやすい拠点	427	38.6%
8	仕事や起業など新しい産業の拠点	118	10.7%
9	若者・多世代交流の拠点	69	6.2%
10	コンパクトシティの拠点	51	4.6%
11	その他（ ）	13	1.2%
	無回答	50	4.5%
	N（%ベース）	1,107	

## 問9-3 移動・アクセス（3つ選択）

「公共交通（バス・電車）の充実」「高齢者や子育て世帯でも利用しやすい移動手段」などが移動のしやすさ・交通手段として重要視されています。

町内で「移動のしやすさ」「交通手段」で重要だと思うことについては、「公共交通（バス・電車）の充実」が72.0%で最も高く、次いで「高齢者や子育て世帯でも利用しやすい移動手段」が59.5%、「生活道路や歩行空間の安全・快適さ」が58.0%となっています。一方で「シェアサイクルや地域交通、ライドシェアの導入」が15.5%と最も低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	公共交通（バス・電車）の充実	797	72.0%
2	生活道路や歩行空間の安全・快適さ	642	58.0%
3	高齢者や子育て世帯でも利用しやすい移動手段	659	59.5%
4	シェアサイクルや地域交通、ライドシェアの導入	172	15.5%
5	拠点間の移動のしやすさ	356	32.2%
6	通学・通院など日常のアクセス向上	444	40.1%
7	その他（ ）	13	1.2%
	無回答	55	5.0%
N	(%ベース)	1,107	

## 問9-4 将来の土地利用の方向性（2つ選択）

「生活サービスや公共施設を『中心拠点』に集約する」「農地や山林を保全していき、開発は望まない」などが将来の土地利用の方向性として望まれています。

将来の土地利用の方向性については、「生活サービスや公共施設を『中心拠点』に集約する」が37.9%で最も高く、次いで「農地や山林を保全していき、開発は望まない」が30.4%となっています。一方で「住宅団地等の開発による用地を拡大する」が5.1%と最も低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	生活サービスや公共施設を「中心拠点」に集約する	420	37.9%
2	農地と住宅や工場と住宅などを区画し、秩序ある土地利用を進める	325	29.4%
3	農地や山林を保全していき、開発は望まない	336	30.4%
4	田園都市にふさわしいレクリエーション・観光のための用地を拡大する	136	12.3%
5	酪農や都市型農業を育成するための周辺環境整備を考えた土地利用をする	179	16.2%
6	土地利用の規制を緩和し、個人による多目的の利用を推進する	142	12.8%
7	工場や企業立地のための用地を拡大する	93	8.4%
8	住宅団地等の開発による用地を拡大する	57	5.1%
9	大規模商業施設立地のための用地を拡大する	211	19.1%
10	その他（ ）	31	2.8%
	無回答	110	9.9%
N	(%^-ス)	1,107	

## 問 10-1 函南町の将来のイメージについて（自由意見）

函南町の将来のイメージについてのご意見については、調査回答数 1107 票のうち、258 票（23.3%）の意見が寄せられました。

寄せられた意見について、概ね、「教育」「歴史・文化」「健康・医療」「福祉・人口減少」「産業・PR」「自然環境」「都市基盤」「生活環境」「行政」「まちづくり」「意見」「その他」の 12 項目に分類・整理し、主に意見の多かった 6 項目について抜粋しました。

### 【都市基盤】

- ・子どもは安全に、親は安心して遊べる場所ができることを望みます
- ・もっと安心して暮らせるようになるといい
- ・交通が不便
- ・バスが通っていない地域への小型バスの開通によって交通弱者への支援が充実していること、インフォーマル・フォーマルな環境が充実していて、地域住民が安心して暮らせるように整備していること
- ・とにかく道路整備
- ・山間地域への交通手段
- ・上水道の整備をして欲しい
- ・三島市との道路網が悪い
- ・山間地でも必要な時に必要な場所へ行ける交通手段をぜひとも取り入れてほしい
- ・自転車で安全に走れる道の整備
- ・伊豆縦貫道、函南 IC と小田原までの伊豆湘南道路の開通、それより平井の田んぼの縦貫道より（函南駅寄り）を住宅地として開発
- ・生活に困らない程度に道路などインフラ整備の継続
- ・公園等の施設の充実さがほしい
- ・函南町は駅が二つあるが、駅へのバスが少なく非常に不便である。企業と協力し、自動運転バス等を取り入れ、駅まで移動手段をふやしてほしい。そうすれば、子どもからお年寄りまで行動範囲が広くなり幸福度も上がると思う。
- ・公共の交通が不便、バスの本数減、函南駅へのアクセスを良くしたい
- ・まちのバスが三島市や清水町のバスとのりつげると病院に行きやすくなる
- ・県道、町道の国道並みの整備が急務、センターライン、歩道の整備でこぼこの解消など
- ・公共交通機関がないと車が運転できなくなったときに、買い物や病院に行くことができなくなってしまふのが心配
- ・交通アクセスの良さを考えていただきたい
- ・災害の時は活躍できるよう公園の整備をお願いしたい。雨やどり用の東屋の設置もしていただけると老人や幼児のオシャベリの場所ともなり自然に町民の交流が出来ると思います。介護施設の方々の花見もしているようなので大切に消毒などもして樹木の育成もお願いしたい
- ・公園、道路の整備

- ・ 駅近くの歩道を早く整備してほしい
- ・ 車がなくても生活できる環境
- ・ 生活道路では自転車が安全に通行できるように、歩道や車道を整備してほしい
- ・ 交通インフラの整備 とにかく車が無かったら生活できない

### 【産業・PR】

- ・ 快適な環境で安心して暮らせる町を目指し魅力ある町づくりに取り組み続ける事が必要
- ・ 日常の買い物から休日のレジャーまで楽しめる大型ショッピングモールのような複合施設が1つでもできると嬉しい
- ・ 函南町にもっと働ける場所があればいい。働ける場所がないから町民は他の市町村に出て行ってしまい、函南町が活気のない町になっている
- ・ 大型商業施設があり、交通の便が良いと人が集まってくると思う
- ・ 色々な場所が開発され、土がなくなりコンクリートで固められ緑がなくなっていく中で、函南町は緑が多く四季を感じられる素敵な場所です。これをずっと維持していけたら良いと思います
- ・ 伊豆の玄関、通過点とされ知名度がない。東京から伊豆縦貫道もあり、伊豆箱根鉄道もありアクセスは申し分ないのに集客力、魅力がなくもったいない町。めんたいパークなんて外部の産物を頼りにするのではなく、函南町の歴史、産物を新たに開発して若者にヒットさせるかが今後のまちづくりを左右させる。子育て環境を整えなければ首都圏からの移住もなく人口減少していくだけ。日本初のなにかチャレンジするパワーがない
- ・ 現在ある自然を生かしながらの就労場所の拡大
- ・ 工業団地的な地区を作り企業を誘致して働ける場所を提供できるようになれば将来的に函南から出て行く若者を少なくできるのではないか
- ・ 可能であれば足湯公園があるともっと観光地として函南町が栄えるのでは
- ・ 農業後継者がいなくて放置されている畑や田んぼの土地が多く目立っているのでは何か利用できる方法があればよいと思います
- ・ ダイヤランド近くに、買い物ができるところイオン、薬局などを作って欲しい。生活に必要なものを買うのに時間がかかりすぎる。同じエリアに集中し過ぎているのは便利とは言えない
- ・ 熱海・東京方面、御殿場・箱根方面、伊豆・下田方面、三島・静岡方面と様々な方向に向かう人達が交わる位置に函南はあるので、そういった人達が「ついでに寄りたい」「次は函南に行く事を目的地にしたい」と思えるような、大型施設、アミューズメントパーク、大きな公園などの充実
- ・ 函南らしさを失わず、酪農や農業が盛んで町民が生き生き暮らせるようになってほしい
- ・ Negura camp やオラッチェのひまわり畑は県外の人にも人気なので、自然と共存したまちづくりも魅力づけになると思います
- ・ 函南町と言えば…と思いつかべて象徴、又は目玉となるもの、他の市町村と比べて他にはないことや物、産業、施設、文化を発信できるようになって欲しい

**【福祉・人口減少】**

- ・若者が働く場所を誘致し、農業酪農も IT 化した近代化の推進を
- ・長泉町のように企業にも住む人にも住みやすい町にしてもらいたい。町民の参加のイベントを作って函南町の発展させてもらいたい。
- ・将来を見据えた早目の対策を
- ・過疎化の心配がない町へ
- ・老人が 1 人暮らししても安心できる町
- ・町外・市外・県外から人がたくさん集まるような活発な町へ！函南町の認知度が上がる町内開発
- ・子供が健やかに育ち、地域と繋がりながら安心して過ごせる街になって欲しい。人口減少に対し、日本の若い人が子供を産もうと思える環境を作ってほしい。
- ・子育て支援に力を入れる
- ・子育てへの取り組みというのはこの町に若者を集める 1 番効果的な方法だと考えられ、若い世代を集めることは街の活性化に繋がっていく
- ・長泉町のような、町民であれば安く利用出来るプールやジムが入っている施設を作り、またそこへ子供達も年齢ごとに利用できるような屋内遊戯の場、体育館、休憩のできるスペースなどを設けることで、幅広い年代との交流の場が設けられると思います。土地の活用と道路の整備も同時に行うことで、町民が安心して生活を送れるようにしていただきたいです。
- ・子育てや家族を増やすために人権尊重な生活が職場環境を整えてほしい。ボランティア活動にペイペイポイント制を導入し地域通貨に転換し意欲を湧かせていかば老人（戦争の動乱期を経験した人々）を有効に利用し、認知予防にもなるし体力は若い人よりあると思える
- ・共働きでもいろいろな選択ができ、自由に生活できる町になってほしい
- ・人口が現状維持程度で推移してほしい。平坦な山間部に企業誘致してほしい
- ・明石市の様な子育てをしっかりとサポートする函南町になれば、そこから派生して町が活性化していくと思う
- ・若い世代が増え、高齢者や弱者に優しい町
- ・子育て世代への支援金、一時保育の利用など、子育てがしやすい街になってほしい
- ・若い世代が「暮らしやすい」と感じる町づくりと、これまで町の発展を支えてこられた高齢者の暮らしを守ること、その両方が大切
- ・子育てしやすい環境の整備は勿論ですが、子育て世代が居住したくなる働く環境の整備（企業の誘致、農業・林業の振興等）も併せて推進していただきたい

**【生活環境】**

- ・外灯が少ないこと
- ・JR 函南町周辺の活性化に尽力を
- ・誰もが安心して暮らしやすい、都心に働きに出た若者がかえって来なくなる町になってほしい
- ・手入れをしていない土地の雑木が多く、枯れ木が屋根に垂れさがり風が吹くたびに折れて落ちてくる。虫が多く、蚊が凄い。大事にならないうちに切ってほしい

- ・人が住みやすく、生活しやすい町
- ・歩道の雑草の整備
- ・この函南町に住む人々が集える場所が増えたり、農業をやられている方も多いので、その農作物がたくさんの人々の手に届くような場を設けたりして、どの世代でも住みやすい活気ある街へ
- ・平和な町のままでいてほしい
- ・都心から身近に行ける田舎そんな温かい地域や温もりがある地域作りが大切では
  - ・子供が暮らしやすい環境の整備
- ・生活に密着する、ゴミ（缶やビンを時間関係なく捨てられる場所）、買い物施設（安いスーパー）、狭い道路などは少しずつでもよりよくしてほしい
- ・近年は本離れとはいえ近くに本屋さんがないのでとても不便を感じています
- ・JR 函南駅前が寂しい限りなので何とか工夫して特徴のある空間を作り上げて欲しい
- ・継続するために必要な要素を見極めて、大切にすることが必要
- ・観光客や集客イベントだけではなく、町民が居心地の良い施設や公園等の充実をしてほしい
- ・どの年代でも安心して住める町、住みやすい町であり続けられたら良いと思います

#### 【自然環境】

- ・木を伐り、山を削る太陽光パネルの設置は絶対にしないでほしい
- ・函南町の豊かな自然環境を有効活用するようなまちづくり
- ・地元の農業等も大切にしながら、災害に強く山林保全など自然と共生していく町づくり
- ・樹木を保全して、田畑も減らさず自然豊かなまち、安心安全な町で住人が幸せに暮らせる町であってほしい
- ・都市化せずに自然を増やすべき
- ・安心・安全に暮せる緑豊かな町
- ・富士山を身近に感じながら、自然豊かな街並みを維持し、どの世代も健康的に暮らせるスポーツ施設を充実している元気な町、災害対策の模範となる町にしたい
- ・豊かな自然環境こそが函南町の特徴的な資産です。ぜひ大切にしていきたい
  - ・残さないといけないもの、改良していかなくてはいけないものを見極めて、素敵な函南町になるといい
- ・サクラがきれいに咲いて、ホテルがいっぱい見られる自然豊かな、四季を感じられる町に！
- ・今のままでも良いが、緑がもっとふえて自然豊かな環境になってほしい
- ・今後も住んでいる人も気持ちよくすがすがしく過ごせる町であってほしい
- ・治安が良く安心して暮らせる町、緑豊かな環境（将来のために今ある自然を大事にしたい）
- ・環境保全を約束された大きな企業が町民を支え、自然豊かな函南を残し、老人から子供達まで豊かな生活を過ごせる財政や、減税のパワーコントロールができる町

**【まちづくり】**

- ・この函南町の立地条件を活かしたオリジナリティーのある歩み
- ・新しく入ってきた人も受け入れてくれるよう、みんなが手を取り会える仲間作りが必要
- ・自宅から新幹線を利用して通学する大学生に補助金を出し、地元での就職を後押しする。地元から離れないような制度を作ってほしい
- ・国内の若い世代、家族連れが移住したくなるような町づくり判断をしてほしい
- ・お住まいどこですか？と聞かれて、函南町です！と答えた時にあそこはステキな町ですよ～って言われる町が理想です
- ・交通が分散して渋滞が起らず、高齢者や幼児連れも安心して町を歩ける、外に出かけようと思える自然と共生した、美しいまちづくり
- ・より良いまちづくりの推進に期待
- ・人が（人間が）住みやすい町になること      ・既得権益や利権による町民の暮らしが危険にさらされる事のないよう、大好きな函南町がずっと続いていくこと
- ・住宅地もあり自然もあり都会に比べたら空気も良く過ごしやすいこの函南町を失わないようにすたれないように、進化出来たらと思います
- ・年齢的に活動が限られてくるのでその中で楽しく生活が出来るのには町の行なう行事に少しでも出かけて広く接する事ができる様な、出かけてみたくなる、魅力あるイベントや活動であってほしい
- ・函南駅と三島大場駅の繋がりを意識したまちづくり
- ・若い世代が戻って来られる場所を作ったり、生活しやすさをアピールして幅広い年齢層の町になればいい
- ・若者が帰ってきたくなる町であってほしい
- ・平和で静かな町、進歩も大切だが、それより難しい維持することを見失わないで欲しい

### 3. まとめ

#### 1. 回答者の属性について

- ・今回調査については、本調査の有効回答数が 44.3%を占めており、前回調査（第六次函南町総合計画後期基本計画策定時：34.7%）よりも高く、町民の計画に対する関心の高さがうかがわれる。
- ・回答者の属性については、性別では女性が多く、年齢別では 70 歳以上が 29.6%と約 3割、居住年数では 25 年以上が 52.6%と過半数を占めており、昔からの函南町の歴史を知る町民の意向が反映されるものとなっている。

#### 2. 居住意向について

- ・居住意向については、7 割を超える人（71.1%）が今後も住み続けたと感じており、住み続けたい主な理由では、「自分（家族）の土地（または住まい）がある（75.9%）」「自然環境がよい（46.9%）」「生活していくのに便利な施設が整っている（32.7%）」が主な理由として挙げられており、居住資産や、自然環境、暮らしの環境の良さが定住の要因となっている。
- ・その一方で、町外へ移りたい人の主な理由では、「交通の便がよくない（70.3%）」「生活していくのに便利な施設が整っていない（54.7%）」が圧倒的に高く、移動手段や環境、身近な商業機能などの不足が町外転出を考える材料となっている。

#### 3. 町の現状・取り組みについて

- ・函南町での日常生活や環境などの現状や取り組みについては、満足度では「自然の豊かさ（0.95）」「ごみの収集状況（0.87）」で満足の評価が高くなっている一方で、「食料品や日常生活品の値段（-0.36）」「鉄道やバスなどの公共（-0.30）」「貼らく場所や就業機会の多さ（-0.18）」で不満が高くなっている。
- ・重要度では、「食料品や日常生活品の値段（1.26）」「日常の買い物の便利さ（1.24）」「地域の盗難など犯罪からの防犯対策（1.21）」など、町民が安全に安心して日々を暮らせる環境づくりへの取り組みへの関心・期待が高くなっている。
- ・これからの 5 年間で町が最も力を入れるべき分野や課題については、「人口減少・少子高齢化への対応（41.9%）」で最も高く、次いで「交通や社会インフラの充実（31.2%）」「防災・減災対策の推進（29.7%）」が上位に挙げられており、町民が安心して快適に暮らせる基盤の維持・確保への取り組みが重要であると考えられている。

#### 4. まちづくりについて

- ・20 年後の理想の函南町（将来像）については、「子どもから高齢者まで安心して健康にくらせるまち（67.6%）」「災害に強い安全・安心なまち（54.9%）」とその他の項目よりも高くなっており、誰もが安全に安心して健康に暮らせるまちが求められている。

- ・町民の現在の暮らしの中での不安や心配ごとについては、「物価高騰・生活費の上昇（53.9%）」「地震や台風などの災害（49.3%）」が他の項目よりも関心度が高く、近年の不安定な社会経済情勢やこれまでに経験したことのない災害の発生頻度などにより、大きな不安や心配事に繋がっている。
- ・高齢化や人口減少が進む中で感じていることについては、「将来、地域で介護や生活支援を受けられるか不安（51.4%）」「高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせるまちになってほしい（49.6%）」「医療機関や医療・保健サービスの減少が心配（46.3%）」が上位に挙げられており、誰もが安心して暮らせる町となることが望まれている一方で、これからのさらに進む高齢化などに伴う身近な医療や福祉、介護などの生活支援やサービスへの不安や心配の対応した取り組みが求められている。
- ・これからの函南町でのデジタル化やIT技術の活用については、「デジタル化だけでなく、対面での交流や相談も大切にしてほしい（44.3%）」「行政手続きや相談がオンラインでできると便利だと思う（43.4%）」「高齢者やITが苦手な人へのサポート・教室が必要だと思う（40.2%）」などが上位に挙げられ、デジタル化に伴う効率化とともに、これまでの対面によるやり取りや支援や対応など、両面での対応が求められている。

## 5. コミュニティの推進について

- ・参加してみたい地域活動及び将来の町民参加・協働については、「参加した活動はない（32.4%）」や「特に関心がない/参加の予定はない（35.0%）」とそれぞれで最も高くなっている。また、町民参加・協働の課題になっているものについては、「どんな活動をしているか、よく分からない（47.3%）」「参加できる時間がない（41.9%）」が参加への障害（課題）となっており、活動に係る情報発信とともに、気軽に参加などができる環境づくりが地域活動や町民参加・協働に繋がると考えられる。

## 6. 函南町の環境における理想のイメージについて

- ・環境における理想にイメージについては、「安心して暮らせるまち（72.6%）」「災害に強いまち（41.6%）」「健康で暮らせるまち（33.6%）」などが高くなっており、町民が望む将来像と同様に誰もが安全に安心して暮らせる町の環境のまちが望まれている。

## 7. 脱炭素社会・気候変動への対応について

- ・日常生活で気を付けていることについては、「不要な電気をこまめに消すなどの節電（65.4%）」「買い物でエコバックやマイボトルを使う（64.9%）」「エアコンや暖房の適切な温度設定（56.3%）」「ごみの分別・リサイクル・食品ロス削減（55.4%）」「省エネ家電・LED照明の利用（53.3%）」などで5割を超えており、日常生活の中における意識的な取り組みが広がっている。

- ・ 今後に関南町が取り組み組み対策については、「豪雨・猛暑など気候変動に備えた防災・減災対策の強化（59.3%）」と他の項目よりも高く、防災対策などと合わせた地球環境問題対策への取り組みが期待されている。

## 8. 幸福度について

- ・ ウェルビーイングに認知度については、知らない人が約7割（65.2%）を占め、知っている人（31.7%）を大きく上回っており、色々な場面で示されていることから認知を広げていく必要がある。
- ・ 直近の5年間の幸福度については、10点満点中で「7点（24.4%）」で最も高く、次いで「8点（17.4%）」「5点（16.6%）」となっており、全体での平均値は6.3点となっている。また、幸福度の判断に重視する事項については、「健康状況（66.0%）」が他の項目よりも高くなっており、健康で元気に過ごしていることが日常的な幸せや充実にも繋がっていると考えられる。
- ・ これからの町への期待については、「自然や景観を楽しむ場所や活動の充実（44.3%）」「住民の声を活かしたまちづくりの推進（40.6%）」が高く、関南町の有する豊かな自然環境や景観資源を活かしたまちづくりや、住民の期待や希望に応えるまちづくりが望まれている。

## 9. 生活について

- ・ 住みたい・住みたいエリアについては、「医療・福祉・商業などの生活サービス施設が近い場所（69.6%）」「静かで自然豊かな場所（69.2%）」「駅やバス停など交通の便の良い場所（67.8%）」が約7割を占め、他の項目よりも高くなっており、日常での生活利便が重視されていることがうかがわれる。
- ・ 今後のまちづくりで重視する拠点機能については、「医療・福祉サービスの充実した拠点（61.4%）」「商業・買い物が便利な拠点（51.8%）」と他の項目よりも高く、今後の高齢化や移動などを見据えたものが求められている。
- ・ 町内での移動のしやすさや交通手段については、「公共交通の充実（72.0%）」が圧倒的に高く、次いで「高齢者や子育て世帯でも利用しやすい移動手段（59.5%）」「生活道路や歩行空間の安全や快適さ（58.0%）」が挙げられており、高齢者や子どもが安全に安心して通行や移動のできる環境整備・充実が求められている。
- ・ 将来の土地利用の方向性については、「生活サービスや公共施設を「中心拠点」に集約する（37.9%）」「農地や山林を保全していき、開発は望まない（30.4%）」「農地と住宅や工場と住宅などを区画し、秩序ある土地利用を進める（29.4%）」が上位に挙げられており、これまでの拡散型から集約型の都市構造への転換が期待されているほか、豊かな自然環境などの守るべきものは守りながら、計画的な土地利用を進めていくことも要望されている。



---

---

# 町民まちづくりアンケート 調査報告書

---

---

【概要版】

令和7年 12月



# 1. 調査の概要

## 1) 調査の目的

函南町では、令和9年度から令和18年度までの10年間における町の方向性を示す「第七次函南町総合計画」の策定準備を進めている。

本アンケートでは、「第七次函南町総合計画」策定するにあたり、これまでの町の取り組みについての満足度等を含めた町の将来に対する希望や将来像などを伺うため、アンケート調査を実施することとしている。

## 2) 調査の方法

- (1) 調査地域：函南町全域
- (2) 調査対象：住民基本台帳に記載された町民（18歳以上）
- (3) 母集団：35,996人（令和7年9月1日現在）
- (4) 標本数：2,500票
- (5) 調査方法：郵送による発送・回収及びGoogleフォームより回答
- (6) 調査期間：令和7年9月30日～令和7年11月20日

## 3) 回収結果

- (1) 標本数：2,500票
- (2) 有効回答数：1,107票
- (3) 有効回収率：44.3%

## 2. 調査の結果

### 1) 調査対象者の属性

問 1-1 性別	1. 男性 …………… 45.8%	4. 回答したくない … 0.5%
	2. 女性 …………… 52.2%	5. 無回答 …………… 1.3%
	3. その他 …………… 0.2%	
問 1-2 年齢	1. 18～19 歳 …………… 1.5%	8. 50～54 歳 …………… 10.6%
	2. 20～24 歳 …………… 3.1%	9. 55～59 歳 …………… 8.6%
	3. 25～29 歳 …………… 3.3%	10. 60～64 歳 …………… 7.6%
	4. 30～34 歳 …………… 4.9%	11. 65～69 歳 …………… 7.5%
	5. 35～39 歳 …………… 5.5%	12. 70 歳以上 …………… 29.6%
	6. 40～44 歳 …………… 8.4%	13. 無回答 …………… 0.5%
	7. 45～49 歳 …………… 8.9%	
問 1-3 居住地区	1. 仁 田 …………… 12.1%	19. 鬢之沢 …………… 0.8%
	2. 大土肥 …………… 3.8%	20. 細 沢 …………… 0.0%
	3. 柏 谷 …………… 10.9%	21. 八ツ溝 …………… 0.5%
	4. 畑 毛 …………… 2.6%	22. 冷 川 …………… 0.4%
	5. 平 井 …………… 12.2%	23. 新幹線 …………… 0.4%
	6. 丹 那 …………… 1.4%	24. 函 南 …………… 2.4%
	7. 畑 …………… 1.4%	25. 城 山 …………… 0.5%
	8. 軽井沢 …………… 0.5%	26. 柿沢台 …………… 1.6%
	9. 田 代 …………… 0.4%	27. 白道坂 …………… 1.2%
	10. 桑 原 …………… 3.8%	28. 宝蔵台 …………… 0.9%
	11. 大 竹 …………… 2.2%	29. パサディナ …………… 2.6%
	12. 上 沢 …………… 6.7%	30. 鶴 巻 …………… 0.2%
	13. 間 宮 …………… 13.2%	31. エメラルド …………… 0.4%
	14. 塚 本 …………… 7.0%	32. ヒューマンヒルズ …………… 0.5%
	15. 肥 田 …………… 2.3%	33. ダイヤランド …………… 4.5%
	16. 日 守 …………… 0.6%	34. エンブルタウン …………… 0.5%
	17. 新 田 …………… 0.5%	35. その他 …………… 0.0%
	18. 奴田場 …………… 0.3%	36. 無回答 …………… 0.7%
問 1-4 居住年数	1. 5 年未満 …………… 10.9%	4. 15 年～24 年 …………… 18.1%
	2. 5 年～9 年 …………… 8.9%	5. 25 年以上 …………… 52.6%
	3. 10 年～14 年 …………… 8.9%	6. 無回答 …………… 0.6%

## 2) 居住意向について（問2-1）

7割を超える人が住み続けたいと感じています。

今後も函南町に住み続けたいと思うかについては、7割（71.1%）の人が今後も住み続けたいと感じています。その一方で、できれば町外に移りたいと感じている人は1割未満（5.8%）、どちらとも言えないが2割（22.2%）となっています。

また、今後も住み続けたい人の主な理由としては、「自分（家族）の土地（または住まい）があるから」「自然環境がよいから」などが挙げられている一方で、町外に移りたい人の主な理由としては、「交通の便がよくないから」「生活していくのに便利な施設が整っていないから」などとなっています。

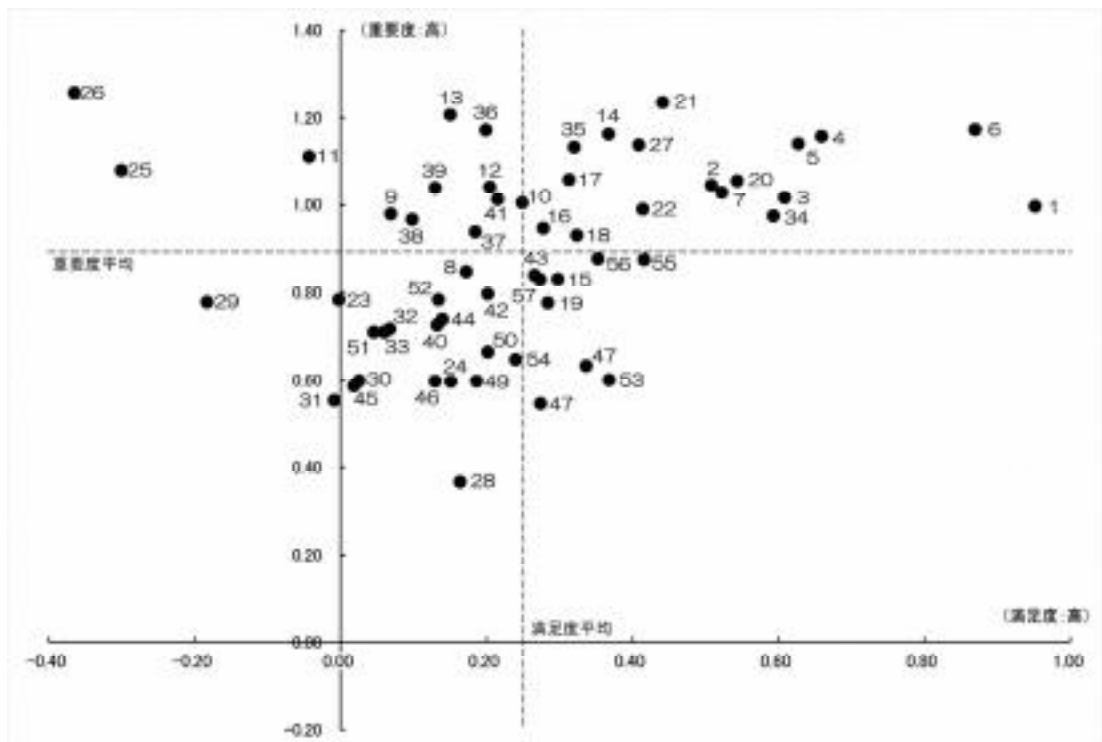
No.		件数	(全体)%
1	今後も住み続けたい	787	71.1%
2	できれば町外へ移りたい	64	5.8%
3	どちらとも言えない	246	22.2%
	無回答	10	0.9%
	N (% <sup>^</sup> -ス)	1,107	100.0%

### 3) 函南町の取組について（問3-1）

町の取組施策全体では57施策のうち、51施策が重点維持領域となっていますが、その他の6施策は重点改善領域に位置しています。  
特に満足度では「26. 食料品や日常生活品の値段」、重要度では「防災訓練や祭り、運動会などの地域行事」が低い施策となっています。

取組施策の満足度では、「1. 自然の豊かさ」「6. ごみの収集状況」「4. 上水道の整備状況」「5. 生活排水の処理状況」「3. 住宅周辺の自然環境」「34. 住民健診などの保健予防体制」などが高くなっています。

また、重要度では、「26. 食料品や日常生活品の値段」「21. 日常の買い物の便利さ」「13. 地域の盗難など犯罪からの防犯対策」などが高くなっています。



〈各項目での満足度・重要度一覧表〉

	項目	満足度	重要度
居住	1. 自然の豊かさ	0.95	1.00
	2. 自然環境の保全	0.51	1.05
	3. 住宅周辺の自然環境	0.61	1.02
	4. 上水道の整備状況	0.66	1.16
	5. 生活排水の処理状況	0.63	1.14
	6. ごみの収集状況	0.87	1.17
	7. 廃棄物の減量やリサイクルの取組状況	0.52	1.03
	8. 省エネルギーの進捗状況	0.17	0.85
	9. 地球温暖化対策	0.07	0.98
	10. 国道、県道などの大きな道路の整備状況	0.25	1.00
	11. 国道、県道以外の生活に密着した町道の整備状況	-0.04	1.11
	12. 地域の交通安全対策	0.20	1.04
	13. 地域の盗難など犯罪からの防犯対策	0.15	1.21
	14. 消防、防災対策	0.37	1.16
	15. 騒音・振動の予防・防止対策	0.30	0.83
	16. 大気汚染の予防・防止対策	0.28	0.95
	17. 水質汚濁の予防・防止対策	0.31	1.06
	18. 町並みの美しさ保全	0.32	0.93
	19. 生物多様性の保全	0.28	0.78
	20. 全体的な居住環境について	0.54	1.06
生活	21. 日常の買い物の便利さ	0.44	1.24
	22. 銀行や郵便局などの金融機関の立地状況	0.41	0.99
	23. 娯楽施設や余暇施設(公園など)の立地状況	0.00	0.78
	24. 地域の公民館(集会所)の整備状況	0.15	0.60
	25. 鉄道やバスなどの公共交通の状況	-0.30	1.08
	26. 食料品や日常生活品の値段	-0.36	1.26
	27. 全体的な生活環境について	0.41	1.14
	28. 防災訓練や祭り、運動会などの地域行事	0.16	0.37
産業	29. 働く場所や就業機会の多さ	-0.18	0.78
	30. 農林業の振興・整備状況	0.03	0.60
	31. 工業の振興・整備状況	-0.01	0.55
	32. 商業・サービス業の振興・整備状況	0.07	0.72
	33. 全体的な産業環境について	0.06	0.71
保健・医療・福祉	34. 住民健診などの保健予防体制	0.59	0.97
	35. 医療機関の整備状況	0.32	1.13
	36. 救急医療体制	0.20	1.17
	37. 児童施設等の子育て支援体制	0.18	0.94
	38. 出産応援金やこども医療費助成などの少子化対策	0.10	0.97
	39. 高齢者に対する介護保険サービスなど	0.13	1.04
	40. 糖尿病や肥満など生活習慣病対策	0.13	0.73
	41. 全体的な保健・医療・福祉環境について	0.21	1.01
42. 保育園などの設置状況	0.20	0.80	
教育・文化	43. 幼稚園、小・中学校の施設の整備状況	0.27	0.84
	44. 教職員などの配置数の状況	0.14	0.74
	45. スポーツやレクリエーション施設の整備状況	0.02	0.59
	46. 社会人や高齢者のための生涯学習などの状況	0.13	0.60
	47. 文化施設(図書館や美術館など)の整備状況	0.34	0.63
	48. 文化財などの保存・整備状況	0.27	0.55
	49. 環境教育・環境学習などの状況	0.19	0.60
	50. 全体的な教育・文化環境について	0.20	0.66
行政	51. 【男女共同参画】女性の仕事や結婚、出産、育児に関するライフスタイル	0.05	0.71
	52. 行政や暮らしに対する住民相談	0.13	0.78
	53. 町広報や回覧などの町の広報活動	0.37	0.60
	54. 町の情報発信(SNSなど)の整備状況	0.24	0.65
	55. 役場の職員の対応・態度	0.42	0.88
	56. 役場の事務処理のスピード	0.35	0.88
	57. 全体的な行政の諸活動や行政運営について	0.27	0.83

## 〈満足度・重要度の評価の見方〉

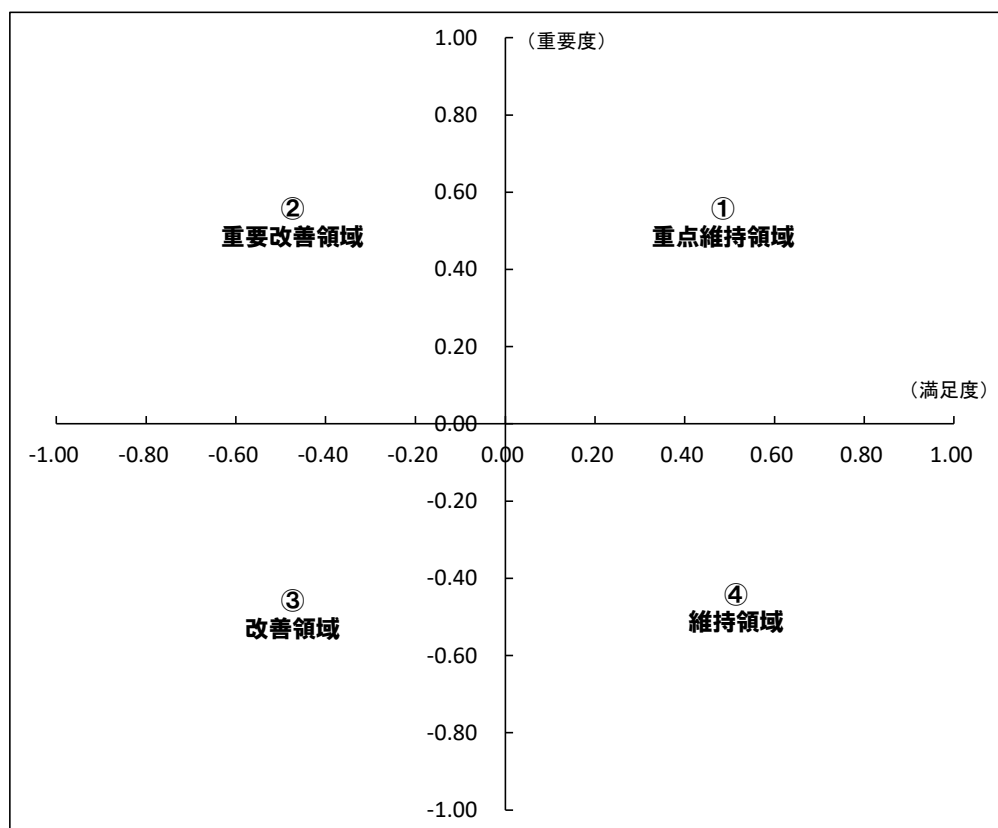
### ○満足度

- ・各項目を5段階評価の評価基準を「非常に満足」＝2点、「満足」＝1点、「どちらともいえない」＝0点、「不満」＝－1点、「非常に不満」＝－2点、として各項目に対する評価を得点化し、平均値（加重平均）を求める。
- ・加重平均が高いほど、その項目に対する満足度が高い。

### ○重要度

- ・各項目を5段階評価の評価基準を「非常に重要」＝2点、「重要」＝1点、「どちらともいえない」＝0点、「あまり重要ではない」＝－1点、「重要ではない」＝－2点、として各項目に対する評価を得点化し、平均値（加重平均）を求める。
- ・加重平均が高いほど、その項目に対する重要度が高い。
- ・散布図の横軸に「満足度」、縦軸に「重要度」をとりグラフ化し、それぞれの基準値に基づいて各項目を4つの領域に区分する。

- |                  |   |           |
|------------------|---|-----------|
| ◇満足度が高く、重要度が高い領域 | ： | 重点維持領域（①） |
| ◇満足度が低く、重要度が高い領域 | ： | 重点改善領域（②） |
| ◇満足度が低く、重要度が低い領域 | ： | 改善領域（③）   |
| ◇満足度が高く、重要度が低い領域 | ： | 維持領域（④）   |



#### 4) 函南町が最も力を入れるべき分野や課題について（問3-2）

人口減少・少子高齢化、交通や社会インフラ、防災・減災などへの取り組みが、最も力を入れていくべき主な分野や課題であると感じています。

これからの5年間で函南町が最も力を入れるべきだと思う分野や課題については、「人口減少・少子高齢化への対応」が41.9%と最も高く、次いで「交通や社会インフラの充実」が31.2%、「防災・減災対策の推進」が29.7%となっています。

その一方で、「多文化共生やダイバーシティの推進」や「地域資源・歴史文化の活用・保存」「新しい挑戦やイノベーションの推進」などでは低くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	人口減少・少子高齢化への対応	464	41.9%
2	防災・減災対策の推進	329	29.7%
3	ウェルビーイング（幸福度）について	97	8.8%
4	健康づくり、地域医療及び福祉体制の充実	220	19.9%
5	子育て・教育環境の充実	263	23.8%
6	働く場・雇用の創出、活力ある産業の振興	261	23.6%
7	良好な自然や景観・環境の保全	158	14.3%
8	SDGs・脱炭素社会の推進	41	3.7%
9	デジタル・ICTの活用と利便性向上	39	3.5%
10	交通や社会インフラの充実	345	31.2%
11	地域資源・歴史文化の活用・保存	27	2.4%
12	地域コミュニティ・町民参加・「助け合い」の仕組みの充実	75	6.8%
13	多文化共生やダイバーシティ（多様性）の推進	18	1.6%
14	新しい挑戦やイノベーション（革新・刷新）の促進	29	2.6%
15	空き家・土地活用の促進	240	21.7%
16	住みやすい住宅・町並みの形成	160	14.5%
17	中心市街地の活性化	78	7.0%
18	未来の（20年後・30年後の）函南町のまちづくり	171	15.4%
19	社会情勢の変化への対応（10年後を見据えた）	110	9.9%
20	その他（ ）	29	2.6%
	無回答	47	4.2%
	N（% <sup>＊</sup> - $\lambda$ ）	1,107	

## 5) 20年後の理想の函南町について（問4-1）

「子どもから高齢者までが安心して健康に暮らせるまち」「災害に強く安全・安心なまち」「道路や建物が整備されていて快適に過ごせるまち」などが理想の函南町として望まれています。

20年後の理想に函南町については、「子どもから高齢者まで安心して健康に暮らせるまち」が67.6%で最も高く、次いで「災害に強く安全・安心なまち」が54.9%、「道路や建物が整備されていて快適に過ごせるまち」が33.6%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	子どもから高齢者まで安心して健康に暮らせるまち	748	67.6%
2	町民がお互いに支え合い、協力し合えるまち	116	10.5%
3	働く場や産業が充実したまち	249	22.5%
4	環境にやさしく、美しい自然や景観を大切にするまち	291	26.3%
5	デジタル技術で便利な暮らしができるまち	88	7.9%
6	多様な人が交流し認め合えるまち	49	4.4%
7	災害に強く安全・安心なまち	608	54.9%
8	歴史や文化を大切にし、守り続けるまち	74	6.7%
9	新しいチャレンジを応援するまち	66	6.0%
10	自分の「やりたいこと」に挑戦できるまち	40	3.6%
11	町民の声が反映されるまち	275	24.8%
12	多様な人が認め合えるまち	30	2.7%
13	子育てにやさしいまち	224	20.2%
14	道路や建物が整備されていて快適に過ごせるまち	372	33.6%
15	その他（ ）	16	1.4%
	無回答	16	1.4%
	N（% <sup>^</sup> -入）	1,107	

## 6) 高齢化や人口減少が進む中で、感じていることについて（問4-3）

「将来に地域での介護や生活支援」、「高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせるまち」、「医療機関や医療・保健サービスの減少」などが不安や心配事となっています。

高齢化や人口減少が進む中で感じていることについては、「将来、地域で介護や生活支援を受けられるか不安」が最も高く51.4%、次いで「高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせる町になってほしい」が49.6%、「医療機関や医療・保健サービスの減少が心配」が46.3%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	将来、地域で介護や生活支援を受けられるか不安	569	51.4%
2	近所の高齢者の見守りや支え合いが必要だと感じる	196	17.7%
3	若い人や子どもが減り、地域がさびしくなるのが心配	311	28.1%
4	空き家や空き地が増えることへの不安	194	17.5%
5	地域の行事や活動の担い手が不足することへの不安	147	13.3%
6	高齢者が増えても、みんなが安心して暮らせる町になってほしい	549	49.6%
7	若い世代も住みやすい町になってほしい	410	37.0%
8	世代を超えた交流や支え合いに期待したい	111	10.0%
9	医療機関や医療・保健サービスの減少が心配	512	46.3%
10	特に不安や期待はない	28	2.5%
11	その他（ ）	15	1.4%
	無回答	27	2.4%
	N（%ベース）	1,107	

## 7) デジタル化やIT技術の活用について（問4-4）

デジタル化による行政手続や相談のオンライン、買い物や配達、暮らしが便利になるだけでなく、対面での交流や相談、苦手な人へのサポートなどへの対応も期待されています。

これからの函南町のデジタル化やIT技術の活用については、「デジタル化だけではなく、対面での交流や相談も大切にしてほしい」が44.3%で最も高く、次いで「行政手続や相談がオンラインできると便利だと思う」が43.4%、「高齢者やITが苦手な人へのサポート・教室が必要だと思う」が40.2%、「デジタル化より買い物や配達、暮らしが便利になってほしい」が35.7%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	行政手続や相談がオンラインできると便利だと思う	480	43.4%
2	オンラインで医療・健康相談を受けられると安心	277	25.0%
3	デジタル化により買い物や配達、暮らしが便利になってほしい	395	35.7%
4	学校や地域でデジタル学習や交流がもっとできるとよい	125	11.3%
5	高齢者やITが苦手な人へのサポート・教室が必要だと思う	445	40.2%
6	地域の防災・見守りにデジタル技術（例：アプリや防災メール）を活かしてほしい	201	18.2%
7	デジタル化だけでなく、対面での交流や相談も大切にしてほしい	490	44.3%
8	デジタル化の推進で、町の活性化や働く場が増えることを期待したい	194	17.5%
9	デジタル技術を活用した“町の情報発信”や“魅力PR”を進めてほしい	116	10.5%
10	特に関心はない／今のままでよい	83	7.5%
11	その他（ ）	22	2.0%
	無回答	33	3.0%
	N（%ベース）	1,107	

## 8) 参加しても良いと思う活動について（問5-1）

花や木の植え、育てる緑化の推進や、地域の美化や清掃、地域での各種イベントへ活動、身近な自然や公園などの維持管理などが高い参加意向となっています。

参加しても良いと思う活動については、「花や木を植え、育てる緑化推進活動」が24.1%で、次いで「地域の美化や清掃などの活動」が22.0%、「地域の防災訓練や祭り、スポーツ大会などのイベント活動」が18.4%、「身近な自然や公園などの維持管理活動」が17.9%となっています。その一方で「参加したい活動はない」が32.4%で最も高くなっています。

No.		件数	(全体)%
1	地域の伝統文化や技術を子どもたちに伝える活動	139	12.6%
2	介護を必要とされている方などへの介護活動	121	10.9%
3	地域の美化や清掃などの活動	243	22.0%
4	身近な自然や公園などの維持管理活動	198	17.9%
5	資源のリサイクルやごみの減量化に関わる活動	131	11.8%
6	花や木を植え、育てる緑化推進活動	267	24.1%
7	観光客などへの観光案内活動	84	7.6%
8	地域の防災訓練や祭り、スポーツ大会などのイベント活動	204	18.4%
9	参加したい活動はない	359	32.4%
10	その他（具体的に： ）	27	2.4%
	無回答	54	4.9%
	N（% <sup>^</sup> -ス）	1,107	

## 9) 町民参加・協働について（問5-2）

イベントやボランティア活動などへの参加、若者や子どもも参画できる仕組みづくりなどが協働のまちづくりとして期待されています。

これからの町民参加・協働にまちづくりについては、「イベントやボランティア活動への参加」が21.5%で、次いで「町的意思決定に若者や子どもも参加できる仕組み」が20.6%、「民間企業や大学等との連携プロジェクト」が15.6%となっています。その一方で「特に関心はない/参加の予定はない」が35.0%で最も高くなっています。

また、町民参加・協働に課題となっている主な理由は、「どんな活動があるか、よく分からない」「参加できる時間がない（仕事・学校・家事などが忙しい）」などが挙げられています。

No.		件数	(全体)%
1	ワークショップや町民会議への参加	120	10.8%
2	SNSやインターネットを活用した情報発信	149	13.5%
3	オンライン上での意見交換や住民アンケート	114	10.3%
4	イベント・ボランティア活動への参加	238	21.5%
5	地域プロジェクトの企画・運営	114	10.3%
6	町的意思決定に若者や子どもも参画できる仕組み	228	20.6%
7	民間企業や大学等との連携プロジェクト	173	15.6%
8	特に関心はない/参加の予定はない	387	35.0%
9	その他（ ）	19	1.7%
	無回答	66	6.0%
	N（% <sup>※</sup> - $\lambda$ ）	1,107	

## 10) ウェルビーイング（幸せ・満足度）について（問8-1・3）

ウェルビーイングの認知度が3割に留まっていますが、直近での幸福度は平均値（6.3点）よりも高くなっています。

ウェルビーイングの認知度については、知らないと回答した人が約7割（65.2%）を占め、知っていると回答した人の3割（31.7%）を大きく上回っています。

また、直近5年間での幸福度については、10点満点中で「7点」が24.5%で最も多く、次いで「8点」が17.4%、「5点」が16.6%、「6点」が13.6%となり、5～8点を回答した人が約7割（72.1%）となっています。

No.		件数	(全体)%
1	知っている	351	31.7%
2	知らない	722	65.2%
	無回答	34	3.1%
	N (% <sup>^</sup> -)	1,107	100.0%

No.		件数	(全体)%
1	0点	5	0.5%
2	1点	11	1.0%
3	2点	25	2.3%
4	3点	29	2.6%
5	4点	70	6.3%
6	5点	184	16.6%
7	6点	150	13.6%
8	7点	271	24.5%
9	8点	193	17.4%
10	9点	43	3.9%
11	10点	93	8.4%
	無回答	33	2.9%
	N (% <sup>^</sup> -)	1,107	100.0%

## 11) これからの町に期待することについて（問8-5）

自然や景観を楽しむ場所や活動、住民の声を活かしたまちづくり、居場所づくり、地域でのつながりなどが期待されています。

これからの函南町でウェルビーイング（幸せ・満足度）を高めるために期待することについては、「自然や景観を楽しむ場所・活動の充実」が44.3%で最も高く、次いで「住民の声を活かしたまちづくりの推進」が40.6%、「心の健康や相談体制の充実」が35.2%、「子育て世代や高齢者の居場所の支援」が34.8%、「孤立や孤独を防ぐ地域のつながりづくり」が31.3%となっています。

No.		件数	(全体)%
1	心の健康や相談体制の充実	390	35.2%
2	運動やスポーツを楽しめる施設・場所の充実	325	29.4%
3	孤立や孤独を防ぐ地域のつながりづくり	346	31.3%
4	幅広い年代が集える交流の場やイベント	169	15.3%
5	子育て世代や高齢者の居場所の支援	385	34.8%
6	自然や景観を楽しむ場所・活動の充実	490	44.3%
7	生きがいを感じられる仕事や学びの機会	337	30.4%
8	新しいことに挑戦しやすい環境や支援	197	17.8%
9	住民の声を活かしたまちづくりの推進	449	40.6%
10	その他（ ）	35	3.2%
	無回答	26	2.3%
	N（% <sup>＊</sup> - <sub>7</sub> ）	1,107	